

令和5年度

# 市政モ二夕一報告書

枚方市 市長公室 広聴相談課

# 目 次

1. 市政モニター概要 . . . . . 1 頁
2. 墓地に関するアンケート . . . . . 3 頁
3. 市民の健康づくりや食育に関するアンケート . . . . . 19 頁
4. 市民の文化芸術に関するアンケート . . . . . 33 頁
5. 枚方市の文化芸術の環境や施策に関するアンケート . . . . . 53 頁
6. 枚方市総合交通計画改定に関するアンケート . . . . . 57 頁

# 令和5年度 市政モニター概要

市政モニターアンケートテーマ

## 第1回

- ① 墓地に関するアンケート（保健衛生課）
- ② 市民の健康づくりや食育に関するアンケート（健康づくり・介護予防課）
- ③ 市民の文化芸術に関するアンケート（文化生涯学習課）

## 第2回

- ① 枚方市の文化芸術環境や施策に関するアンケート（文化生涯学習課）
- ② 枚方市総合交通計画の改定に関するアンケート（土木政策課）

実施日	第1回	アンケート送付日	令和5年8月8日
		回答締切日	令和5年8月25日
	第2回	アンケート送付日	令和5年12月14日
		回答締切日	令和6年1月9日

## 回答率

		モニター区分	モニター数 (人)	回答数 (人)	回答率 (%)	
第1回	①	eモニター	389	314	80.7%	83.2%
		郵送モニター	106	98	92.5%	
	②	eモニター	389	304	78.1%	81.2%
		郵送モニター	106	98	92.5%	
	③	eモニター	389	291	74.8%	78.6%
		郵送モニター	106	98	92.5%	
第2回	①	eモニター	388	303	78.1%	81.2%
		郵送モニター	106	98	92.5%	
	②	eモニター	388	276	71.1%	76.3%
		郵送モニター	106	101	95.3%	

※この報告書は、各アンケートの担当部署が作成したものを、広聴相談課で取りまとめたものです。内容について問い合わせ等がある場合は、各担当部署にお願いします。



## 1. 墓地に関するアンケート

本市では、『墓地、埋葬法等に関する法律』に基づき、墓地、納骨堂及び火葬場の経営等の許可を行っています。

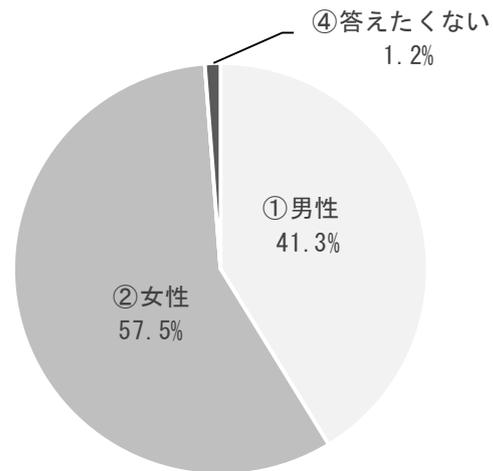
許可に際しては、国民の宗教的感情に適合し、かつ、公衆衛生その他公共の福祉の見地から、支障無く行われることはもちろんのこと、墓地等の経営者が利用者保護の観点から安定した適切な運営ができるかについて慎重に審査を行っています。

とりわけ、墓地等を安定した適切な運営を行うためには、墓地等の経営者による過度な墓地等の設置を抑制し、需要と供給のバランスが必要となってきます。

そのため、枚方市における将来の墓地需要数を把握し、今後の経営許可の参考にすることを目的として、今回このアンケートを実施したものです。

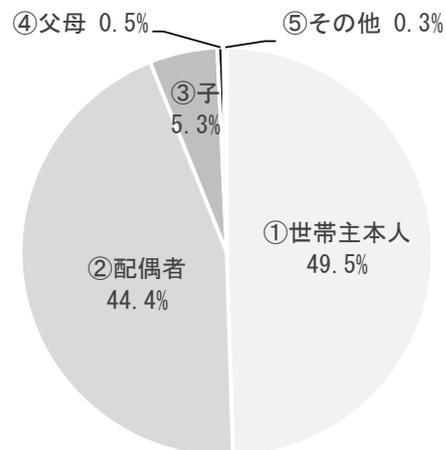
問1. 性別について、あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 男性	170	41.3
② 女性	237	57.5
③ その他	0	0
④ 答えたくない	5	1.2
合計	412	



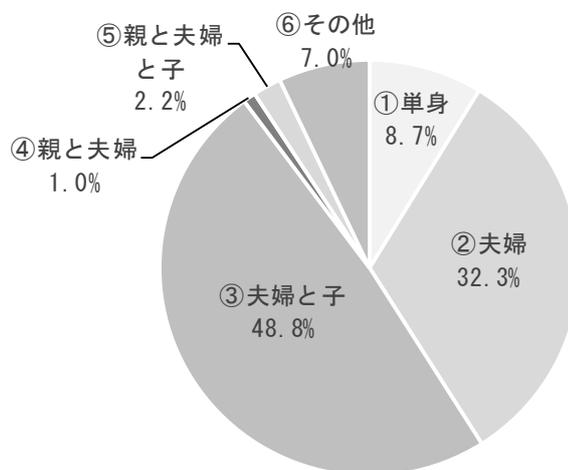
問2. 世帯主との続柄について、あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 世帯主本人	204	49.5
② 配偶者	183	44.4
③ 子	22	5.3
④ 父母	2	0.5
⑤ その他	1	0.3
合計	412	



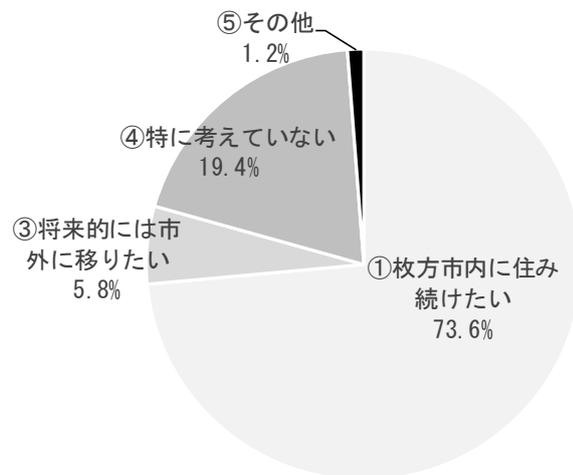
問3. 世帯構成について、あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 単身	36	8.7
② 夫婦	133	32.3
③ 夫婦と子	201	48.8
④ 親と夫婦	4	1.0
⑥ 親と夫婦と子	9	2.2
⑥ その他	29	7.0
合計	412	



問4. 今後のお住まいについてあてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 枚方市内に住み続けたい	303	73.6
② 市外へ転出予定がある	0	0
③ 将来的には市外に移りたい	24	5.8
④ 特に考えていない	80	19.4
⑤ その他	5	1.2
合計	412	



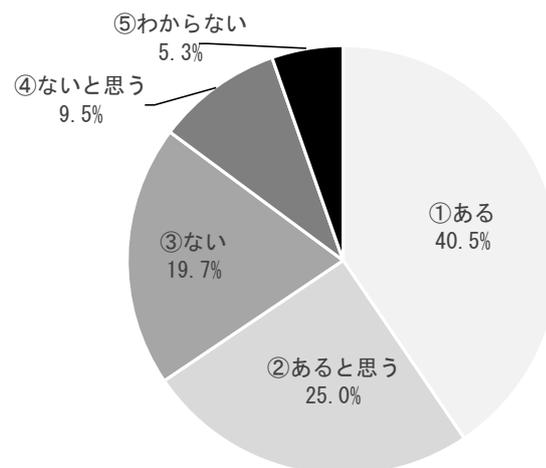
**【考察】**

今後のお住まいについては、「枚方市内に住み続けたい」と回答した人の割合が73.6%あり、「特に考えていない」人も19.4%ありました。「その他」と回答した人は、介護・家族関係や仕事関係などの理由などで転出を検討中という内容でした。

以上の結果から、定住志向率が少なくとも73.6%以上あることが分かります。

問5. あなたは、ご自身が利用できる、できないに関わらず、ご先祖のお墓を守る立場にありますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① ある	167	40.5
② あると思う	103	25.0
③ ない	81	19.7
④ ないと思う	39	9.5
⑤ わからない	22	5.3
合計	412	

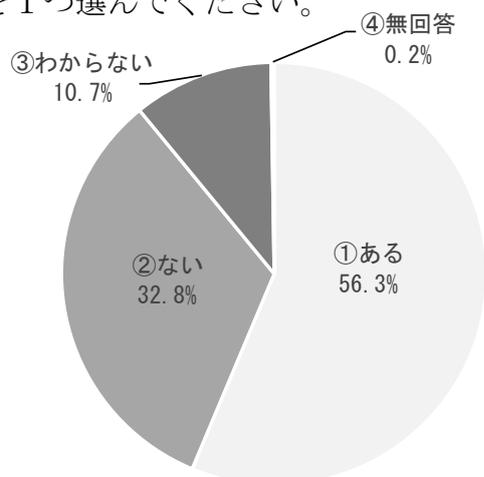


**【考察】**

ご先祖のお墓を守る立場にありますかについて、「ある」と「あると思う」を合わせた割合が65.5%になることから、概ね3人中2人はお墓を守る立場にあるということが分かります。

問6. 現在、ご自身が利用できる、又は、親や親族から将来引き継ぐなど利用可能となるお墓がありますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① ある	232	56.3
② ない	135	32.8
③ わからない	44	10.7
④ 無回答	1	0.2
合計	412	



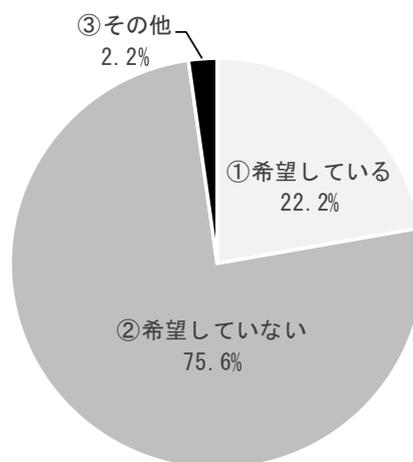
**【考察】**

ご自身が利用できるお墓がありますかについて、「ある」と回答された方が 56.3% で、一方、「ない」と回答された方が 32.8% になっていることから、約半数以上の方が利用可能なお墓を所有されていることがわかります。

問7. お墓などの取得を希望していますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

(お墓など=墓地、納骨堂)

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 希望している	40	22.2
② 希望していない	136	75.6
③ その他	4	2.2
合計	180*	



※問6で②、③、④を選択された方の合計

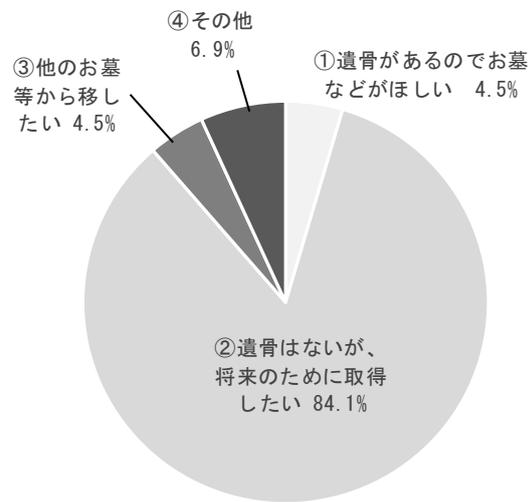
**【考察】**

お墓などの取得を希望していますかについて、「希望していない」人の割合が 75.6% で、概ね4人中3人の割合で取得を希望していないことが分かります。

(取得希望がない理由：問18【考察】参照)

問8. お墓などの取得を希望している理由について、あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 遺骨があるのでお墓などがほしい	2	4.5
② 遺骨はないが、将来のために取得したい	37	84.1
③ 他のお墓等から移したい	2	4.5
④ その他	3	6.9
合計	44	



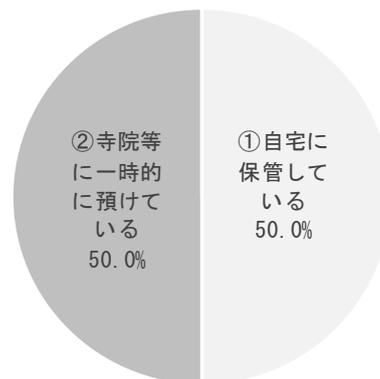
【考察】

お墓などの取得を希望している理由について、「遺骨はないが将来のために取得したい」人の割合が84.1%となっており、生前に取得を希望されている人がほとんどであることが分かります。

【問8で①を選択した方にお聞きします。】

問9. 現在、お持ちの遺骨について、あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 自宅に保管している	1	50.0
② 寺院等に一時的に預けている	1	50.0
③ その他	0	0
合計	2	

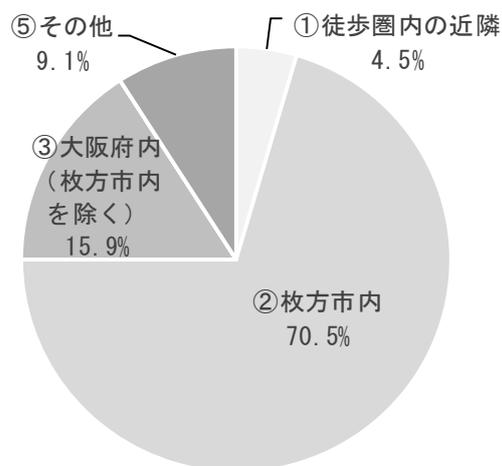


【考察】

持っている遺骨の保管場所については、「自宅に保管している」と「寺院等に一時的に預けている」人が1名ずついました。

問 10. お墓などをどの地域に取得したいとお考えですか。あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 徒歩圏内の近隣	2	4.5
② 枚方市内	31	70.5
③ 大阪府内 (枚方市内を除く)	7	15.9
④ 京都府内	0	0
⑤ その他	4	9.1
合計	44	

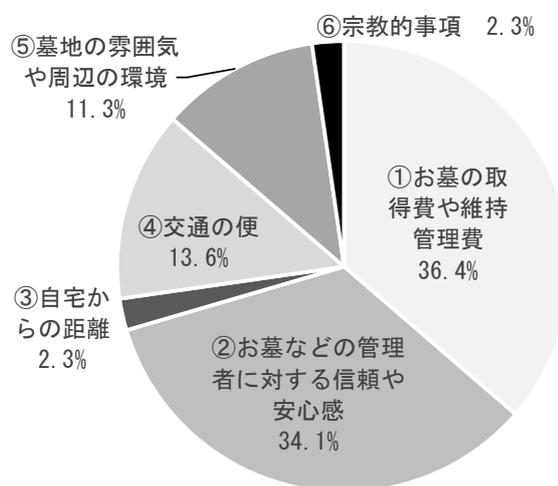


**【考察】**

お墓などをどの地域に取得したいですかについて、「徒歩圏内の近隣」、「枚方市内」の割合を合わせると75.0%、これに「大阪府内 (枚方市内を除く)」を加えた割合は90.9%となり、ほとんどの人がお墓参りに行きやすい地域でお墓などを取得したいと考えていることが分かります。

問 11. お墓などを取得するときに、最も重視することについて、あてはまる番号を1つ選んでください（主なものを1つ）。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① お墓の取得費や維持管理費	16	36.4
② お墓などの管理者に対する信頼や安心感	15	34.1
③ 自宅からの距離	1	2.3
④ 交通の便	6	13.6
⑤ 墓地の雰囲気や周辺の環境	5	11.3
⑥ 宗教的事項	1	2.3
⑦ その他	0	0
合計	44	

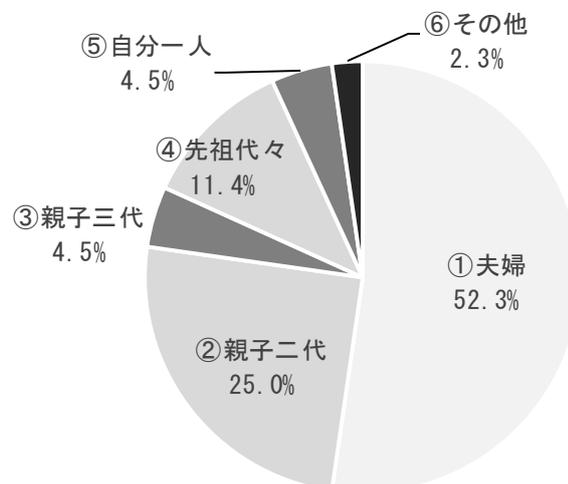


【考察】

お墓などを取得するときに、最も重視することについて、「お墓の取得費や維持管理費」の割合が一番高く 36.4%、次いで「お墓などの管理者に対する信頼や安心感」の割合が 34.1%となっており、お墓に関する費用や、お墓の管理者に対する健全な経営や管理の点を重要視されていることが分かります。

問 12. お墓などをどのような範囲で使用したいですか。あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 夫婦	23	52.3
② 親子二代	11	25.0
③ 親子三代	2	4.5
④ 先祖代々	5	11.4
⑤ 自分一人	2	4.5
⑥ その他	1	2.3
合計	44	

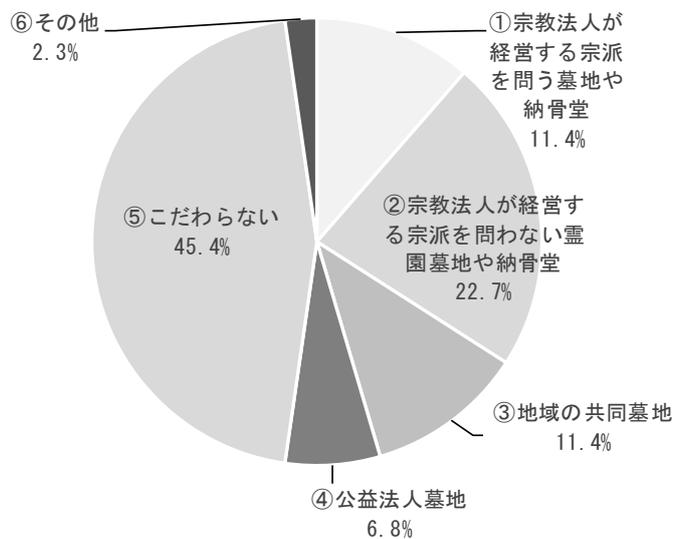


【考察】

お墓などをどのような範囲で使用したいですかについて、「夫婦」が 52.3%、「親子二代」が 25.0%の人が希望している一方、「先祖代々」が 11.4%の人が希望しています。

問 13. 取得したいお墓などは次のどれですか。あてはまる番号を1つ選んでください  
(主なものを1つ)。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 宗教法人が 経営する宗 派を問う墓 地や納骨堂	5	11.4
② 宗教法人が 経営する宗 派を問わな い霊園墓地 や納骨堂	10	22.7
③ 地域の共同 墓地	5	11.4
④ 公益法人墓 地	3	6.8
⑤ こだわらな い	20	45.4
⑥ その他	1	2.3
合計	44	

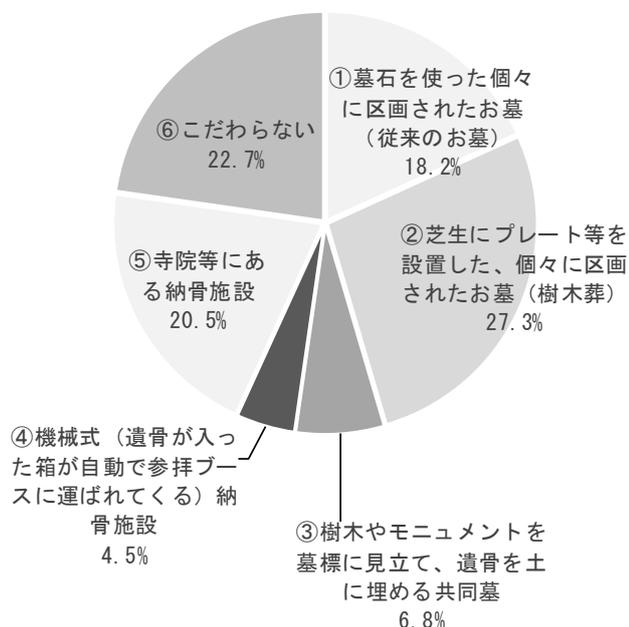


【考察】

取得したいお墓などについては、こだわらない人の割合が 45.4%で、概ね 2 人に 1 人がこだわっていない一方、「宗教法人が経営する宗派を問う墓地や納骨堂」と「宗教法人が経営する宗派を問わない霊園墓地や納骨堂」を合わせた割合が 34.1%で、3 人に 1 人が宗教法人が経営するお墓などを希望されています。

問 14. 近年は様々なタイプのお墓が見受けられます。今後、お墓などを取得するとしたら、どのようなお墓を望まれますか。あてはまる番号を1つ選んでください。(主なものを1つ)

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 墓石を使った個々に区画されたお墓 (従来のお墓)	8	18.2
② 芝生にプレート等を設置した、個々に区画されたお墓 (樹木葬)	12	27.3
③ 樹木やモニュメントを墓標に見立て、遺骨を土に埋める共同墓	3	6.8
④ 機械式 (遺骨が入った箱が自動で参拝ブースに運ばれてくる) 納骨施設	2	4.5
⑤ 寺院等にある納骨施設	9	20.5
⑥ こだわらない	10	22.7
⑦ その他	0	0
合計	44	

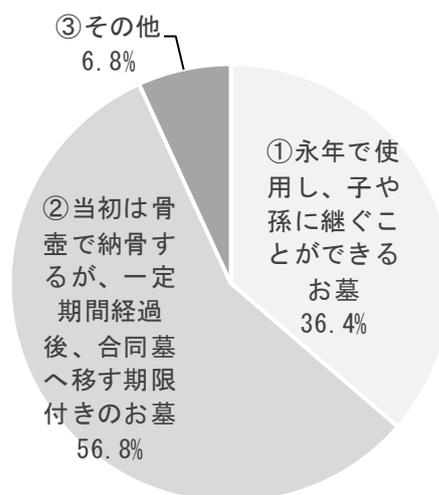


**【考察】**

どのようなお墓の取得を望まれますかについて、「個々に区画された樹木葬」の割合が一番高く 27.3%で、次いで「こだわらない」22.7%、「寺院等にある納骨施設」20.5%、「従来のお墓」18.2%と続いています。樹木葬では永代供養を含めたものが多く、後継者への負担を軽くする志向があるものと考えられます。

問 15. 近年は 10 年から 50 年などの期間を設け、経過後は合同墓に移すなど、後継者を不要とする様々なお墓が見受けられます。問 13 でご回答いただいたお墓のタイプについて、どのような性質のお墓を望まれていますか。あてはまる番号を 1 つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 永年で使用し、子や孫に継ぐことができるお墓	16	36.4
② 当初は骨壺で納骨するが、一定期間経過後、合同墓へ移す期限付きのお墓	25	56.8
③ その他	3	6.8
合計	44	



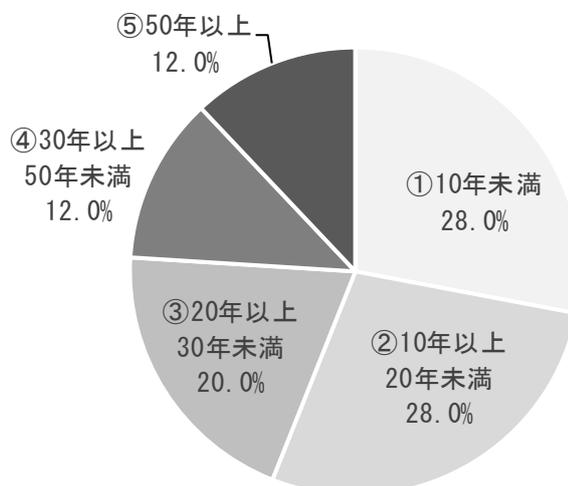
【考察】

どのような性質のお墓を望まれていますかについて、「当初は骨壺で納骨するが、一定期間経過後、合同墓へ移す期限付きのお墓」を希望する人の割合が 56.8%である一方、「永年で使用し、子や孫に継ぐことができるお墓」を望まれている人も 36.4%いることが分かります。

【問 15 で②を選択した方にお聞きします。】

問 16. 合同墓に移すまでの期間はどのくらいが望ましいとお考えですか。あてはまる番号を 1 つ選んでください

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 10 年未満	7	28.0
② 10 年以上 20 年未満	7	28.0
③ 20 年以上 30 年未満	5	20.0
④ 30 年以上 50 年未満	3	12.0
⑤ 50 年以上	3	12.0
⑥ その他	0	0
合計	25	



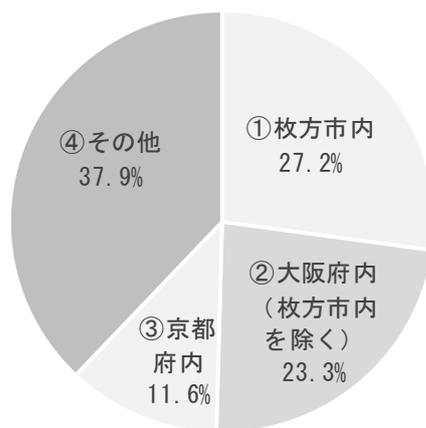
【考察】

合同墓に移すまでの期間はどのくらいが望ましいですかについて、「10年未満」と「10年以上20年未満」の割合が同じ28.0%で、次いで「20年以上30年未満」が20.0%、次いで「30年以上50年未満」と「50年以上」の割合が12.0%となっており、各人の合祀に関する考え方の違いが分かります。

【問6で①を選択した方にお聞きします。】

問17. あなたのお墓は、どの地域にありますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 枚方市内	63	27.2
② 大阪府内（枚方市内を除く）	54	23.3
③ 京都府内	27	11.6
④ その他	88	37.9
合計	232	



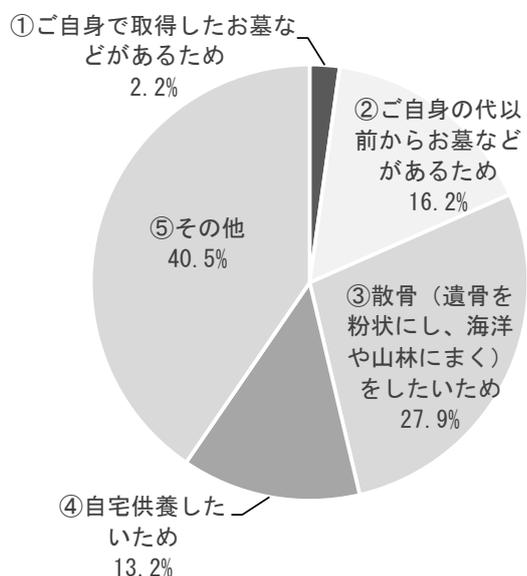
【考察】

問6でご自身が利用できる墓を持っている人の割合が56.3%あり、その人が持っているお墓の場所が、枚方市内含む大阪府内で所有している割合が50.5%となっていることから、2人に1人が大阪府内に所有していることが分かります。

【問7で②を選択した方にお聞きします。】

問18. お墓の取得を希望していない理由について、あてはまる番号を1つ選んでください（主な理由を1つ）。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① ご自身で取得したお墓などがあるため	3	2.2
② ご自身の代以前からお墓などがあるため	22	16.2



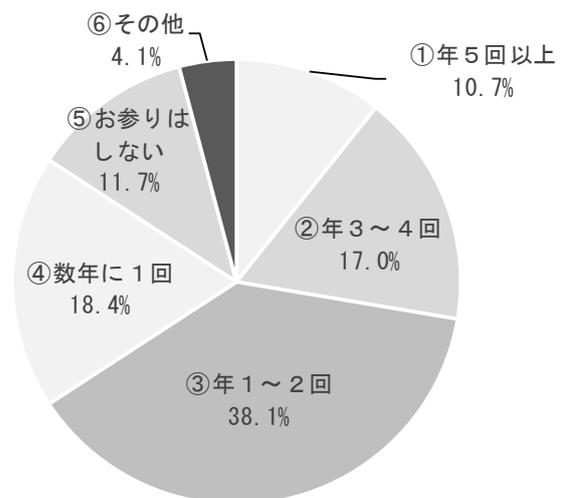
③ 散骨（遺骨を粉状にし、海洋や山林にまく）をしたため	38	27.9
④ 自宅供養したため	18	13.2
⑤ その他	55	40.5
合計	136	

【考察】

お墓の取得を希望していない理由について、「その他」の割合が40.5%と一番高く、その理由については、次に継ぐ人がいない、子どもに負担を掛けたくないという回答が多く、後継者に配慮したいという傾向にあります。また、次に割合が高いのが27.9%の「散骨」となっており、お墓離れが進んでいます。

問 19. 普段どの程度お墓参りをされますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 年5回以上	44	10.7
② 年3回～4回	70	17.0
③ 年1回～2回	157	38.1
④ 数年に1回	76	18.4
⑤ お参りはしない	48	11.7
⑥ その他	17	4.1
合計	412	



【考察】

普段どの程度お墓参りをされますかについて、「年1回～2回」が38.1%と一番高く、少なくとも年1回以上お墓参りをしている人の割合は65.8%で約3人に2人は年1回以上お墓参りをされていることが分かります。

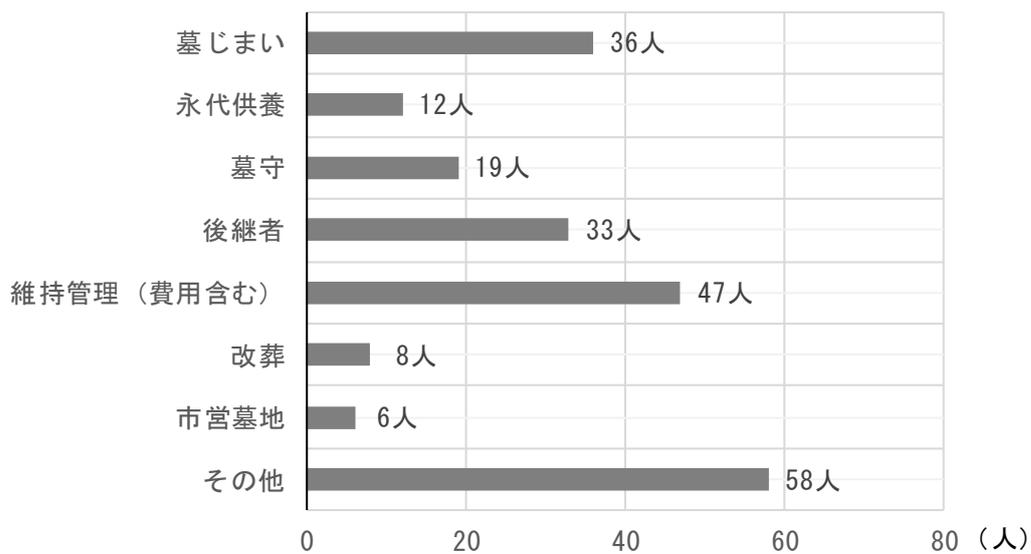
問 20. 将来のことも含め、お墓について何か不安なことや心配なことはありますか。  
(自由記述)

お墓について何か不安なことや心配なことについて、回答者 412 人中、219 人の方から意見がありました。(「無回答」: 136 人、「意見なし」: 57 人)

意見のあった 219 人の不安や心配なことの内容については、「墓じまい」に関するものが 36 人、「永代供養」に関するものが 12 人、「墓守」に関するものが 19 人、「後継者」に関するものが 33 人で、お墓の後継者が居なかったり、居ても遠方であることから、墓じまいや永代供養を考えている人が多いことが分かります。

また、「維持管理 (費用含む)」についても不安や心配に思われている人が 47 人もおり、お墓の維持管理費用が経済的負担になっていることもうかがえます。そのため、安定した経営と経済的負担が少ない市営墓地の設置を求める人も 6 人いました。

「その他」としては、まだ先の事で分からない、自分の墓をどうしたらよいのか、今あるお墓をどのようにしたらよいのか、お墓は不要などの意見がありました。



## 【まとめ】

本市では、『墓地、埋葬法等に関する法律』に基づく墓地、納骨堂又は火葬場の経営等の許可に際しては、国民の宗教的感情に適合し、かつ、公衆衛生その他公共の福祉の見地から、支障無く行われることはもちろんのこと、墓地等の経営者が利用者保護の観点から安定した適切な運営ができるかについて慎重に審査を行っています。

とりわけ、最近の墓地経営を取り巻く厳しい現状のなか、地方公共団体以外の者が墓地を安定的に経営するためには、墓地等の経営者による過度な墓地等の設置を抑制し、需要と供給のバランスが必要となってきます。

そのためには、本市における将来の墓地需要数を把握することが必要であり、その需要数を算出するために必要な項目（「定着志向率（問4）」「ご先祖のお墓を守る立場の有無（問5）」、「お墓の所有の有無（問6）」、「お墓の取得希望（問7）」、「お墓の取得希望理由（問8）」、「お墓の取得を希望する地域（問10）」、「お墓の購入の際、最も重視すること（問11）」、「お墓の利用範囲（問12）」「取得を希望するお墓の種類など（問13及び問14）」などについて、本アンケートで調査させていただきました。

その結果、定着志向率については73.6%、お墓を守る立場の有無から、直系（祖先から子孫まで真っすぐ繋がる系統）的な立場の人が65.5%、傍系（兄弟姉妹によって横に分かれた系統）的な立場の人が29.2%で、既にお墓を所有している人の割合が56.3%でした。

お墓の取得希望については、希望していない人の割合が75.6%で、希望している人の割合（22.2%）の3倍以上の値で、希望していない人の理由としては、その他（次に継ぐ人がいない、子どもに負担を掛けたくないなど）が40.5%と最も多く、次いで散骨が27.9%あり、少子化の影響が出ていると思われれます。

一方、お墓の取得を希望する人についてみると、購入したい場所が枚方市内の割合が75.0%で、大阪府内まで範囲を広げると90.9%になります。次にお墓などを取得するときに最も重視することについては、取得費や維持管理費の割合が一番高く36.4%、管理者に対する信頼感や安心感の割合が34.1%、自宅からの距離や交通の便が15.9%、墓地の雰囲気や周辺の環境が11.3%となっています。取得を希望するお墓のタイプについては、樹木葬の割合が一番高く27.3%、こだわらないが22.7%、寺院等にある納骨施設が20.5%、従来のお墓18.2%、共同墓が6.8%、機械式納骨堂が4.5%となっています。樹木葬の割合が高いのは維持管理、費用負担や永代供養の点で希望が高いものと考えられます。

また、将来のことも含め、お墓について何か不安なことや心配なことについて意見を聞いたところ、墓じまい、永代供養、墓守及び後継者のことについての意見が数多くみられた他、費用を含めた維持管理に関する意見も数多くみられました。

については、本アンケートを通じて、市民のお墓などに対する意向等について把握することができましたので、本アンケート結果と本市の今後の人口推移などを考慮に入れて、本市における墓地等の需要数を算出し、今後の墓地等の経営許可に際しての審査に活用させていただきます。



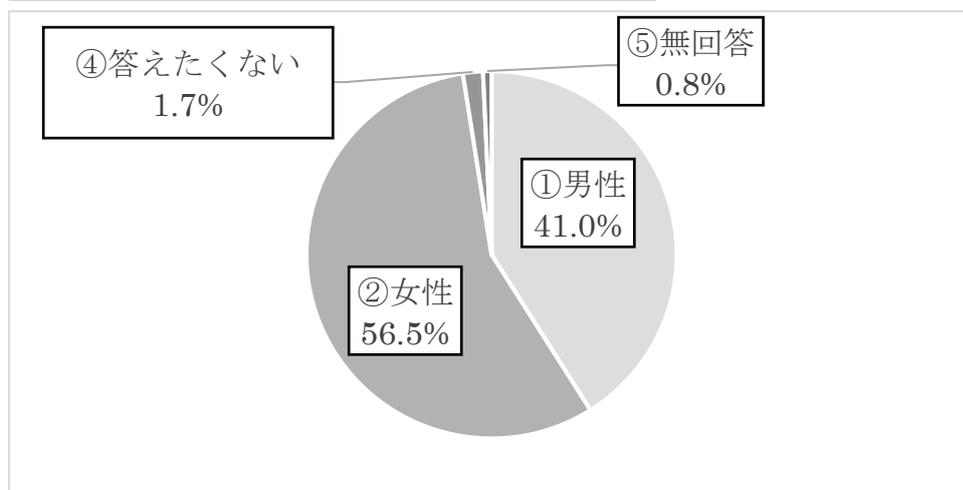
## 2. 市民の健康づくりや食育に関するアンケート

本市では、すべての市民が健康で安心していきいきと暮らすことができるまちの実現を目指し、枚方市健康増進計画、枚方市歯科口腔保健計画、枚方市食育推進計画を策定し、市民の健康づくりの推進に取り組んでいるところです。

各計画は今年度が最終評価の年となっており、本調査は、市民の皆さまの健康づくりの取組状況を伺い、次期計画策定の基礎資料および今後の推進方法の参考とさせていただきますと考え、アンケートを実施したものです。

問1. 性別について、あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 男性	165	41.0
② 女性	227	56.5
③ その他	0	0.0
④ 答えたくない	7	1.7
⑤ 無回答	3	0.8
合計	402	

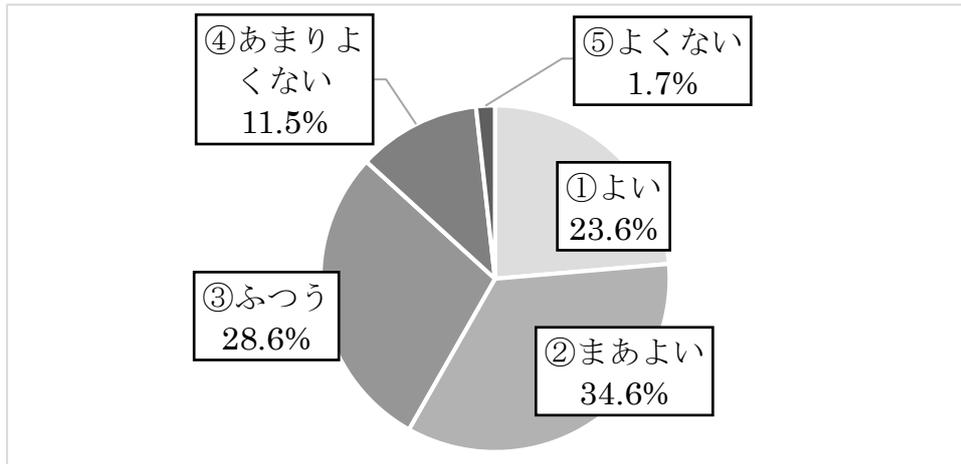


**【考察】**

男性 41.0%、女性 56.5%と、やや女性の回答率が高い結果となりました。

問2. 現在の健康状態について、あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① よい	95	23.6
② まあよい	139	34.6
③ ふつう	115	28.6
④ あまりよくない	46	11.5
⑤ よくない	7	1.7
合計	402	

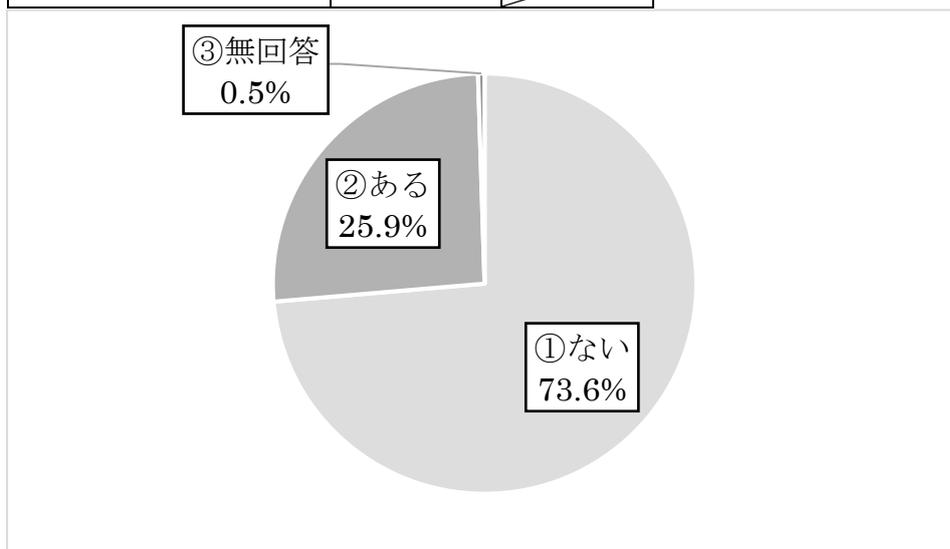


**【考察】**

現在の健康状態が「よい」「まあよい」「ふつう」と答えた人の割合は86.8%で、健康状態が良い人の回答が多くなっています。

問3. 現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① ない	296	73.6
② ある	104	25.9
③ 無回答	2	0.5
合計	402	

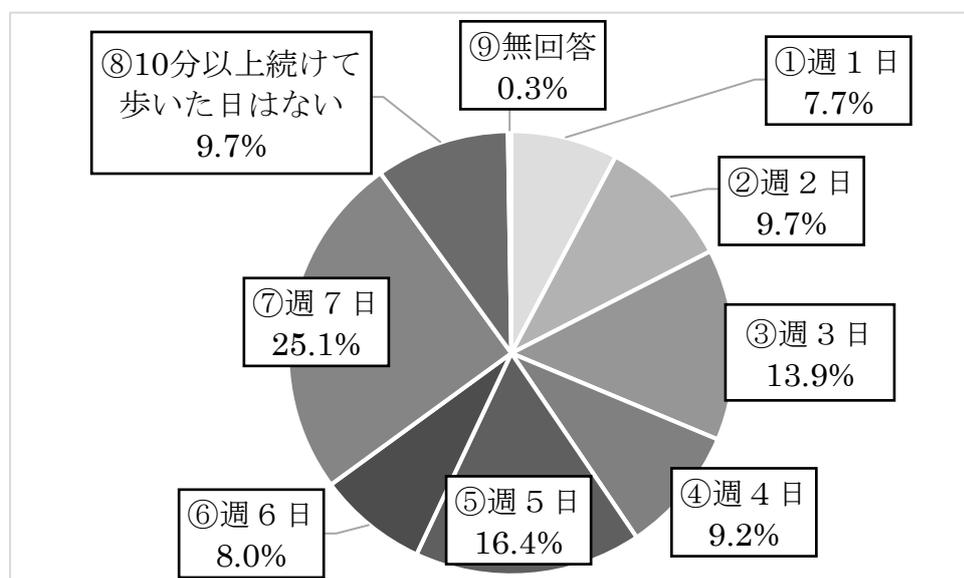


**【考察】**

健康上の問題で日常生活に何か影響が「ない」と答えた人の割合は73.6%で、健康状態が良い人の回答が多くなっています。

問4. 最近1週間で10分以上続けて「歩く」ことは何日ありましたか（「歩く」とは仕事や日常生活で歩くこと、ある場所からある場所へ移動すること、あるいは趣味や運動としてのウォーキング、散歩などを含みます。）。あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 週1日	31	7.7
② 週2日	39	9.7
③ 週3日	56	13.9
④ 週4日	37	9.2
⑤ 週5日	66	16.4
⑥ 週6日	32	8.0
⑦ 週7日	101	25.1
⑧ 10分以上続けて歩いた日はない	39	9.7
⑨ 無回答	1	0.3
合計	402	



**【考察】**

10分程度の歩行を1日に数回行うことで、生活習慣病の予防の効果が期待できるとされていますが、10分以上続けて「歩く」ことが週7日（毎日歩いている）と答えた人の割合は25.1%と少ない状況でした。週7日未満（毎日歩いていない）と答えた人の割合は74.6%であり、健康づくりにおける「歩くこと」の重要性や効果に関する認識は低いと考えられます。

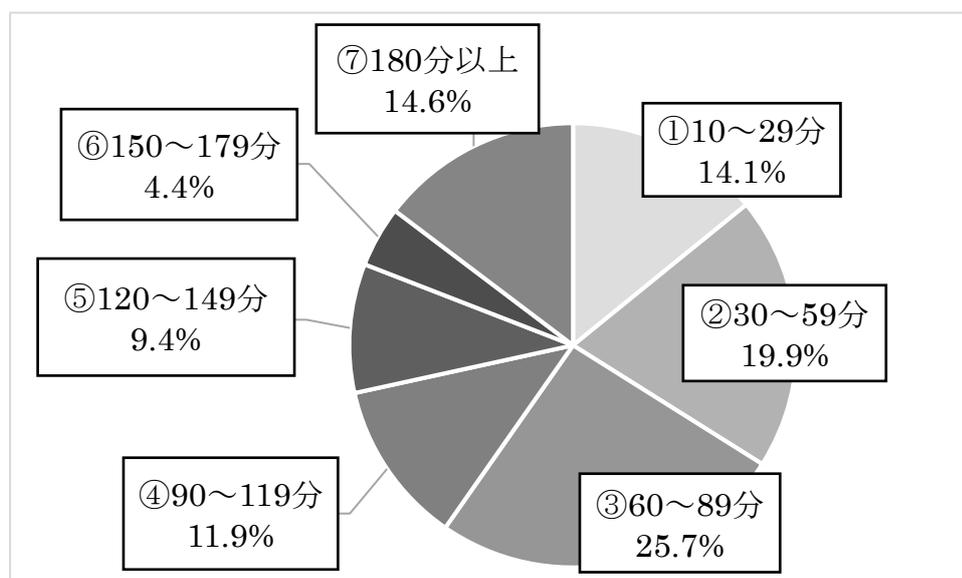
【問4で①～⑦を選択した方にお聞きします。】

問5. 1日10分間以上続けて歩く日は、平均で、1日に合計してどのくらいの時間歩きましたか。

【記載例】（ 5 ）時間（ 00 ）分くらい

時間は1時間単位（0～23）、分は10分単位（00・10・20・30・40・50）で記入してください。

カテゴリー	回答数 (人)	割合 (%)
10～29分	51	14.1
30～59分	72	19.9
60～89分	93	25.7
90～119分	43	11.9
120～149分	34	9.4
150～179分	16	4.4
180分以上	53	14.6
合計	362	



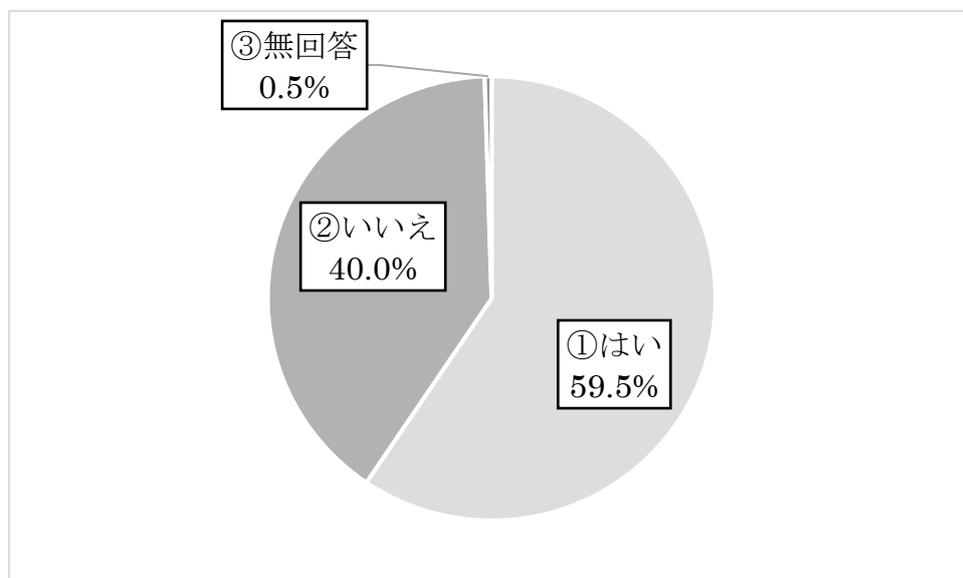
#### 【考察】

健康づくりのための身体活動基準において、成人における1日の歩数は8,000歩～10,000歩が推奨されており、約10分の歩行は1,000歩と換算されることから、1日約80～100分程度の歩行が健康づくりに効果的と考えられます。

1日に90分以上歩いていると答えた人の割合は40.3%、60分未満と答えた人の割合は34.0%となっており、1日歩行時間に関する認識をあげていく必要があると考えます。

問6. 歩数計やスマートフォンのアプリなどで1日の歩数を確認できますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① はい	239	59.5
② いいえ	161	40.0
③ 無回答	2	0.5
合計	402	



#### 【考察】

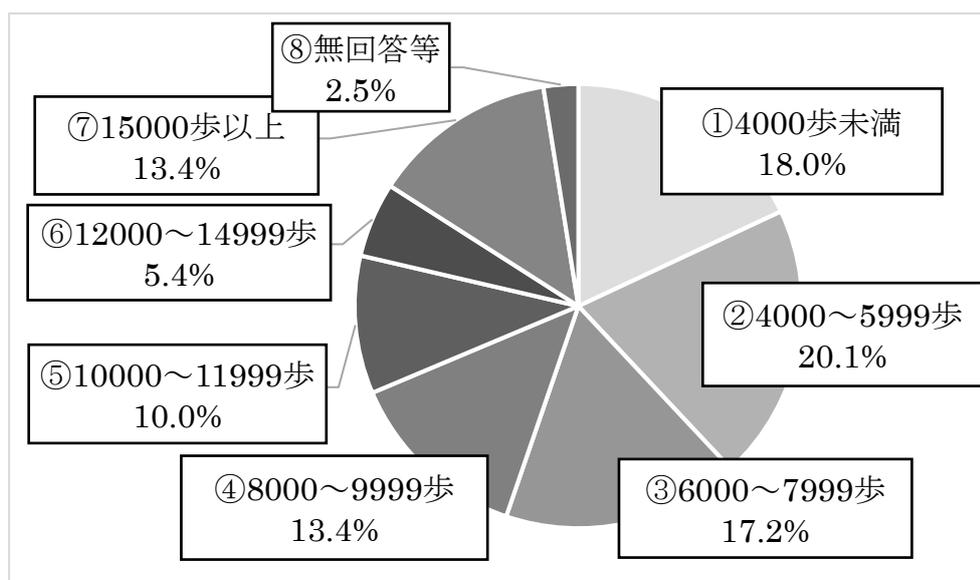
歩数が少ないと生活習慣病の発症リスクや死亡率が高まることが分かっていることから、日々の歩数を確認し、健康づくりに活かしてもらうことが大切です。

ICTの発展により、スマートフォンや健康増進アプリ等を用いて1日の歩数を確認しやすくなっていますが、1日の歩数を確認できると答えた人の割合は59.5%であり、1日の歩数を確認することの重要性を啓発していくことが必要と考えます。

【問6で①を選択した方にお聞きします。】

問7. 最近1週間の任意の1日（日曜日と祝日を除く）の歩数をご記入ください。  
歩数（\_\_\_\_\_）歩

カテゴリー	回答数 (人)	割合 (%)
4000歩未満	43	18.0
4000～5999歩	48	20.1
6000～7999歩	41	17.2
8000～9999歩	32	13.4
10000～11999歩	24	10.0
12000～14999歩	13	5.4
15000歩以上	32	13.4
無回答等	6	2.5
合計	239	



#### 【考察】

高血圧やメタボリックシンドロームなどの生活習慣病の予防に効果的とされる歩数は、1日8,000歩～12,000歩とされています。

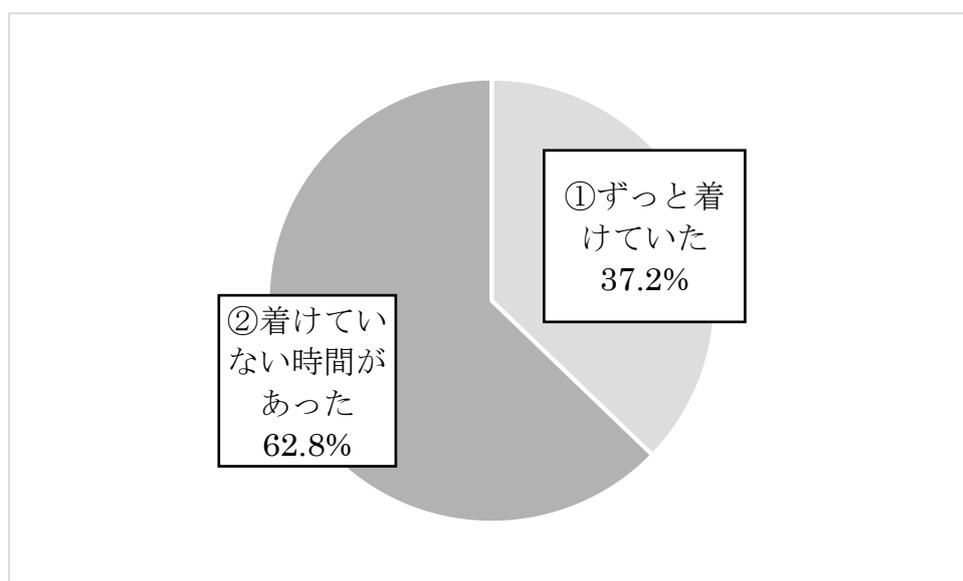
1日の歩数の平均は、4,000歩未満が18.0%、4,000歩以上8,000歩未満37.3%、8,000歩～12,000歩が23.4%で、12,000歩以上が18.8%でした。

1日の歩数の平均が8,000歩未満の人には、歩数が少ないことによる生活習慣病への影響を啓発する必要がありますが、4,000歩未満の人が急激に歩数を増やすと膝や腰などに痛みを生じる原因となるため注意が必要です。また、1日の歩数が12,000歩以上の人には、歩きすぎによる膝痛や腰痛などの悪影響や柔軟体操の必要性などを啓発することが大切であり、歩数の現状に合わせた啓発が必要と考えます。

【問6で①を選択した方にお聞きします。】

問8. 歩数計またはスマートフォンは、朝起きてから寝るまで、ほぼずっと身に付けていましたか（入浴、水泳中などを除く）。あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① ずっと着けていた	89	37.2
② 着けていない 時間があった	150	62.8
合計	239	



【考察】

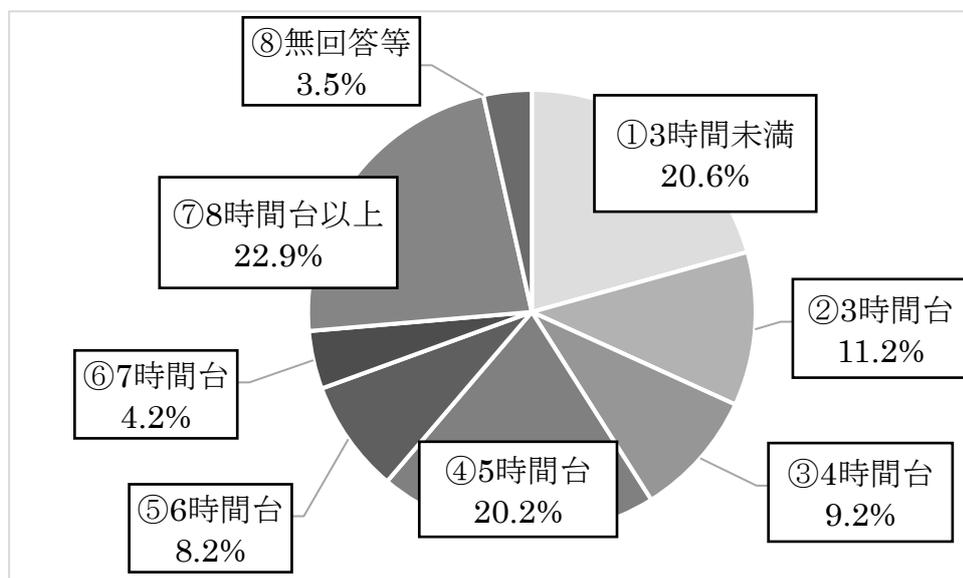
歩数計またはスマートフォンをずっとつけていた人の割合は37.2%でした。1日の活動量を把握し、日々の健康づくりに活かしてもらえるよう、1日の歩数が確認できる方法を啓発する必要があると考えます。

問9. 最近1週間で、「座っている」または「横になっている」時間の1日平均時間（睡眠時間を除く）を教えてください。工作中、家にいるとき、移動中、友達といるときを含みます（例：机に向かう、車・バス・電車で座る、読書、テレビを見るなど）。

【記載例】（ 4 ）時間（ 40 ）分くらい

時間は1時間単位（0～23）、分は10分単位（00・10・20・30・40・50）で記入してください。

カテゴリー	回答数 (人)	割合 (%)
3時間未満	83	20.6
3時間台	45	11.2
4時間台	37	9.2
5時間台	81	20.2
6時間台	33	8.2
7時間台	17	4.2
8時間台以上	92	22.9
無回答等	14	3.5
合計	402	



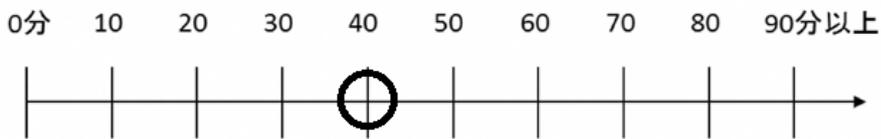
#### 【考察】

座っている時間や横になっている時間が長いほど、肥満や糖尿病、高血圧などの罹患リスクが高くなることや死亡リスク高くなることが分かっています。

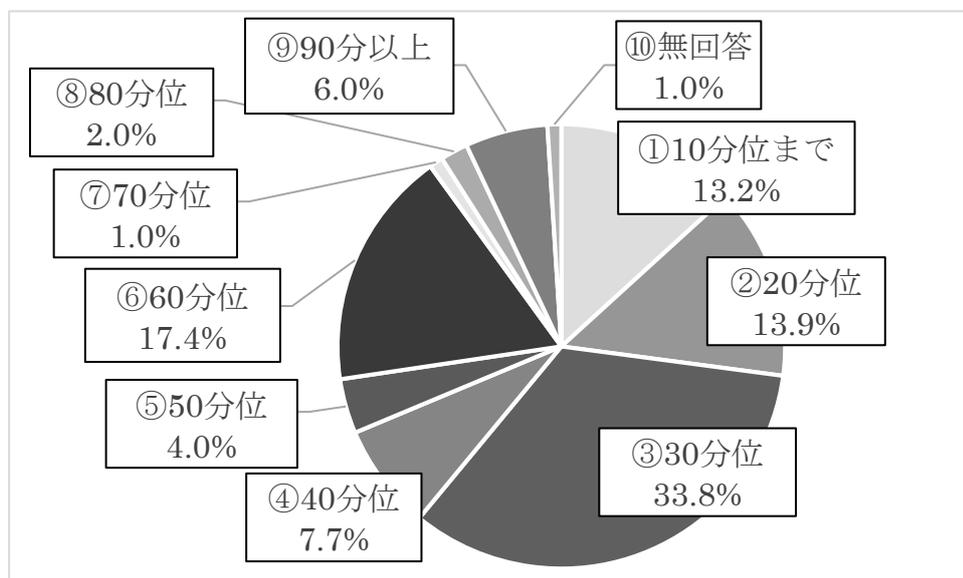
座っている時間や横になっている時間の平均は322分で、全国の調査における座位時間の平均343分と比較して、1日の座位時間は短いと考えられます。今後も座位時間が長くなることによる身体への影響や生活習慣病との関連について啓発を行い、意識して動くことの大切さについて啓発していく必要があると考えます。

問 10. 座って作業するとき、何分くらいに 1 回立ち上がりますか。(例：立ち上がってリラックスする、トイレに行く、別の用事をすませるなど)

【記載例】 10 分単位で記入してください。



選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 10 分位までに 1 回	53	13.2
② 20 分位に 1 回	56	13.9
③ 30 分位に 1 回	136	33.8
④ 40 分位に 1 回	31	7.7
⑤ 50 分位に 1 回	16	4.0
⑥ 60 分位に 1 回	70	17.4
⑦ 70 分位に 1 回	4	1.0
⑧ 80 分位に 1 回	8	2.0
⑨ 90 分位に 1 回	24	6.0
⑩ 無回答	4	1.0
合計	402	



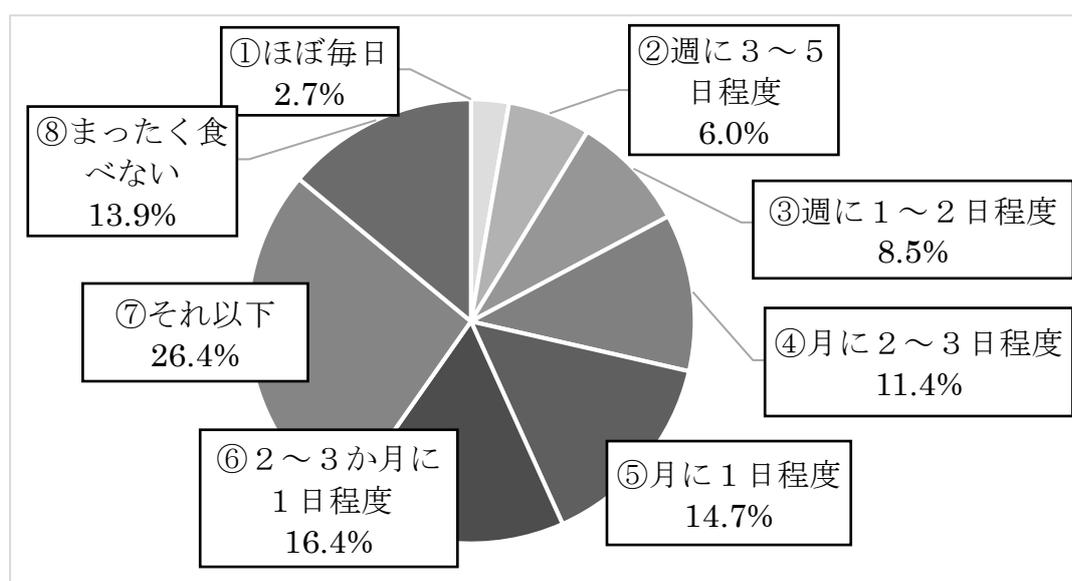
【考察】

座っている間は、足の筋肉がほとんど動かず、下半身に降りた血液を心臓に押し戻すポンプの機能低下より血流が滞りやすくなるため、30分～1時間に一度立ち上がることが重要とされています。30分以内に1回立ち上がると答えた人の割合は60.9%で、意識して立ち上がっている人の割合は高いと考えます。今後も、座っている時間が長くないよう意識して動いてもらうことや、スマートフォンやウェアラブル端末<sup>\*</sup>などを活用し立ち上がり時間を設定することなどを啓発していくことが必要と考えます。

<sup>\*</sup>手首や腕等に装着するコンピューターデバイス。スマートウォッチなど心拍数やGPS機能等があり健康管理に役立つ端末。

問 11. いわゆる郷土料理や伝統料理をどのくらいの頻度で食べていますか。（自身の生まれ育った地域や現在住んでいる地域に限定せず、旅先や外食先など日本全国の郷土料理や伝統料理含みます。）あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① ほぼ毎日	11	2.7
② 週に3～5日程度	24	6.0
③ 週に1～2日程度	34	8.5
④ 月に2～3日程度	46	11.4
⑤ 月に1日程度	59	14.7
⑥ 2～3か月に1日程度	66	16.4
⑦ それ以下	106	26.4
⑧ まったく食べない	56	13.9
合計	402	



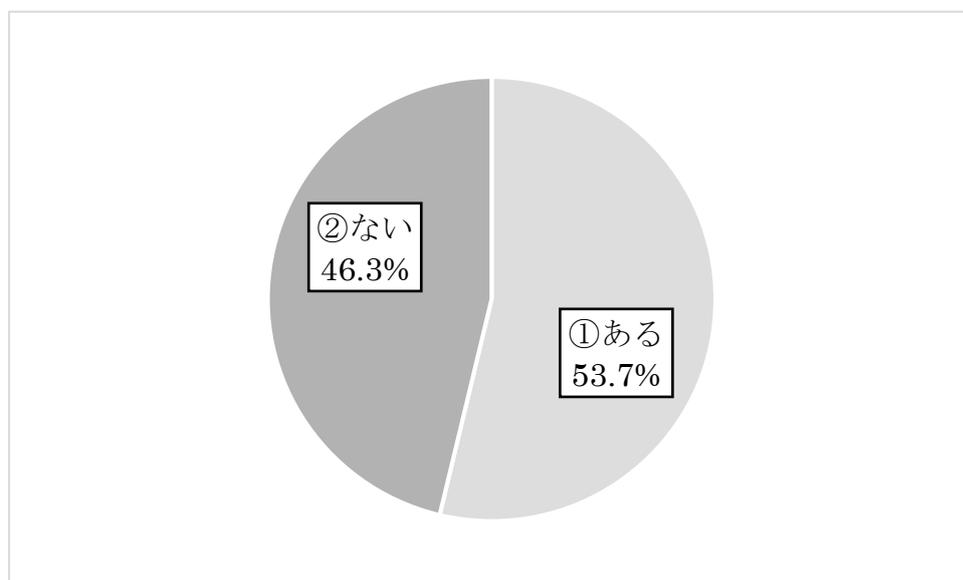
### 【考察】

地域の風土にあった食材や調理法を生かした郷土料理等の優れた伝統的な食文化は、地域の多様な食文化や地産地消に繋がるため、次世代へ継承していくことが大切です。

郷土料理や伝統料理を食べる頻度が月1回以上の方は43.3%で、国の「食育に関する意識調査報告書」（令和5年3月）の63.1%と比較すると低い状況であること、また、「全く食べない」「2～3か月に1日程度」「それ以下」と答えた人の割合は56.7%であることから、家庭や地域において十分に継承されていない傾向が見受けられます。今後は、郷土料理や伝統料理に関する情報発信を行い、普及啓発に努める必要があります。

問12. これまで、田植え（種まき）、稲刈り、野菜の収穫など、農業体験に参加したことはありますか。（イベントや催しへの参加及び自身で栽培・収穫している場合も含まれます。）あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① ある	216	53.7
② ない	186	46.3
合計	402	



### 【考察】

これまで、農業体験に参加したことがあると答えた人の割合は53.7%で、国の「食育に関する意識調査報告書」（令和5年3月）の「農林漁業体験に参加した国民（世帯）の割合」の62.4%と比較すると低い状況でした。

食に関する関心を高め、理解を深めるためには、農業等生産に関する体験活動を経験することが重要とされていることから、子どもを始めとした幅広い世代に対する農業体験の機会を提供していくことが必要と考えます。

#### <まとめ>

健康づくりに関するアンケート結果については、健康状態が良く、比較的健康的健康づくりに取り組んでいる人の回答が多かったと考えますが、1日の身体活動時間や歩数、座位時間が多い人もいれば少ない人もいるため、全員一律の周知ではなく、現在の取組状況に合わせた健康づくりの周知が必要と考えられます。

食に関するアンケート結果については、国の同様のアンケート結果と比較し、2つとも下回っていることから、今後も食育に係る施策の更なる推進を図る必要があると考えます。また、近年、スマートフォンやウェアラブル端末などのICTの普及が進んでいることから、ICTを活用した健康づくりの方法や取組事例について紹介することや、SNSを活用し、広く健康づくりについて啓発していくことも必要と考えます。

本結果については、学識経験者、市民団体及び関係団体を代表する者等で構成する本市附属機関である「健康増進計画審議会」および「食育推進計画審議会」にて報告し、第3次健康増進計画、第4次食育推進計画の策定による市民の健康づくりの推進に役立てさせていただきます。



### 3. 市民の文化芸術に関するアンケート

本市では、平成 29 年(2017)年に枚方市文化芸術振興条例に規定する基本施策を総合的に実施するため、「枚方市文化芸術振興計画」を策定し、この計画に沿った具体的な事業を推進することで本市の文化芸術を振興し、喜びと活力にあふれ、いきいきとした魅力ある地域社会の実現を目指してまいりました。

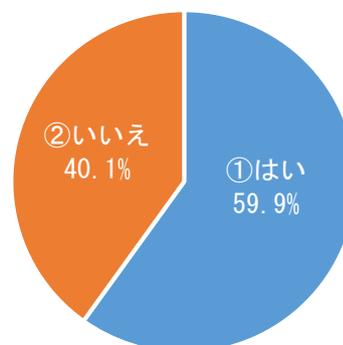
今回のアンケート調査は、第 1 期計画の改訂版策定にあたり、今後の文化芸術施策の推進に活かしていきたいと考え、アンケートを実施したものです。

<文化芸術活動について>

問1. 文化芸術の「鑑賞」についておたずねします。

この1年間に文化芸術の鑑賞経験はありますか。

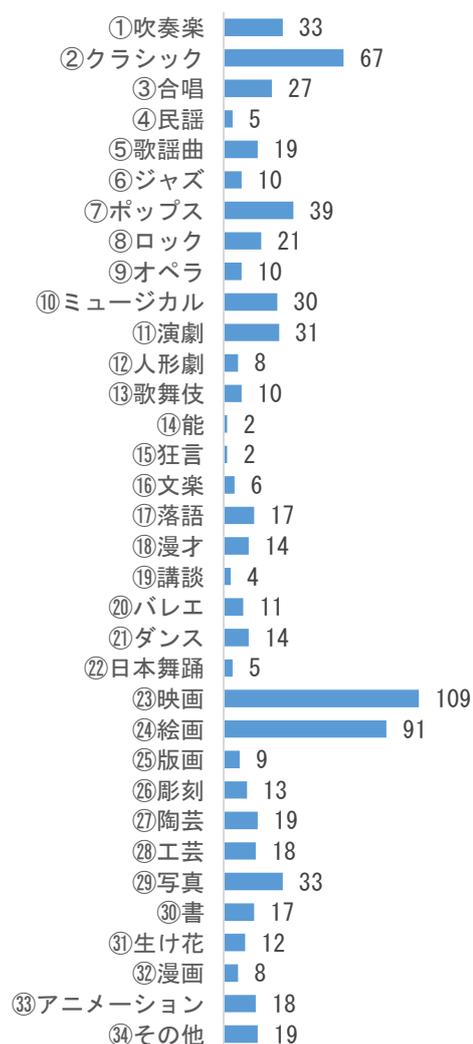
選択項目	回答数	割合
①はい	233	59.9
②いいえ	156	40.1
合計	389	



【問1で①を選択した方にお聞きします。】

問2. この1年間に、ホールや映画館、美術館などで鑑賞した文化芸術について、あてはまる番号を選んでください。(複数回答可)

選択項目	回答数 (件)
①吹奏楽	33
②クラシック	67
③合唱	27
④民謡	5
⑤歌謡曲	19
⑥ジャズ	10
⑦ポップス	39
⑧ロック	21
⑨オペラ	10
⑩ミュージカル	30
⑪演劇	31
⑫人形劇	8
⑬歌舞伎	10
⑭能	2
⑮狂言	2
⑯文楽	6
⑰落語	17



⑱漫才	14
⑲講談	4
⑳バレエ	11
㉑ダンス	14
㉒日本舞踊	5
㉓映画	109
㉔絵画	91
㉕版画	9
㉖彫刻	13
㉗陶芸	19
㉘工芸	18
㉙写真	33
㉚書	17
㉛生け花	12
㉜漫画	8
㉝アニメーション	18
㉞その他	19

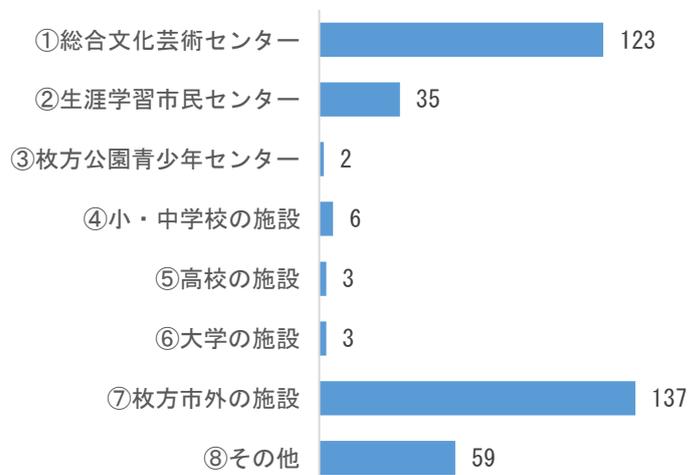
#### 【考察】

本市でこの1年間に文化芸術の鑑賞経験があると回答した方は全体の約60%、ないと回答した方は全体の約40%となりました。

この1年間に鑑賞した文化芸術があると回答した方の中で最も多かったのは「映画」の109件、次いで「絵画」の91件、「クラシック」の67件と続きました。反対に最も少なかったのは、「能」、「狂言」でともに2件、次いで「講談」の4件という結果になりました。

問3. 鑑賞したのは、どちらの施設ですか。あてはまる番号を選んでください。  
(複数回答可)

選択項目	回答数 (件)
①総合文化芸術センター	123
②生涯学習市民センター	35
③枚方公園青少年センター	2
④小・中学校の施設	6
⑤高校の施設	3
⑥大学の施設	3
⑦枚方市外の施設	137
⑧その他	59



【問3で⑦を選択した方にお聞きします。】

問4. 枚方市外で鑑賞の際利用した施設について、あてはまる番号を選んでください。また、施設名を具体的に3つまでご記入ください。

選択項目	回答数 (件)
①大阪市内の施設	90
②大阪府内の施設 (大阪市・枚方市を除く)	37
③兵庫県内の施設	18
④滋賀県内の施設	10
⑤京都府内の施設	47
⑥奈良県内の施設	6
⑦和歌山県内の施設	1
⑧その他	12



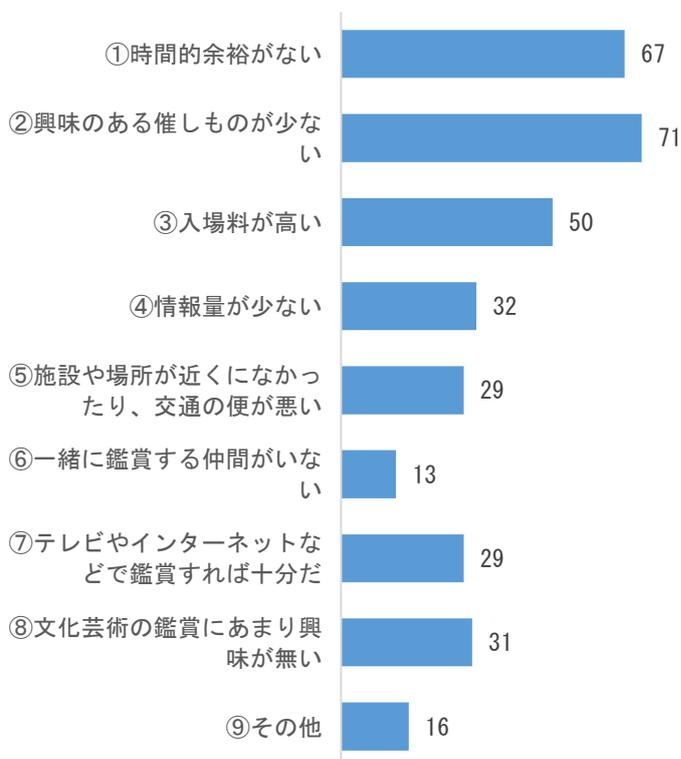
【考察】

鑑賞した施設で最も多かったのは、枚方市外の施設ですが、次いで多かったのは総合文化芸術センターであり、1年間の内に鑑賞経験があると回答数した人の内、半数を超す123人が総合文化芸術センターで文化芸術の鑑賞を行っていました。令和3年8月に開館した総合文化芸術センターが文化芸術の拠点施設として枚方市民に浸透しつつあることがうかがえます。

【問1で②を選択した方にお聞きします。】

問5. 文化芸術の鑑賞をされなかったのはなぜですか。あてはまる番号を選んでください。(複数回答可)

選択項目	回答数 (件)
①時間的余裕がない	67
②興味のある催しものが少ない	71
③入場料が高い	50
④情報量が少ない	32
⑤施設や場所が近くなかったり、交通の便が悪い	29
⑥一緒に鑑賞する仲間がない	13
⑦テレビやインターネットなどで鑑賞すれば十分だ	29
⑧文化芸術の鑑賞にあまり興味が無い	31
⑨その他	16

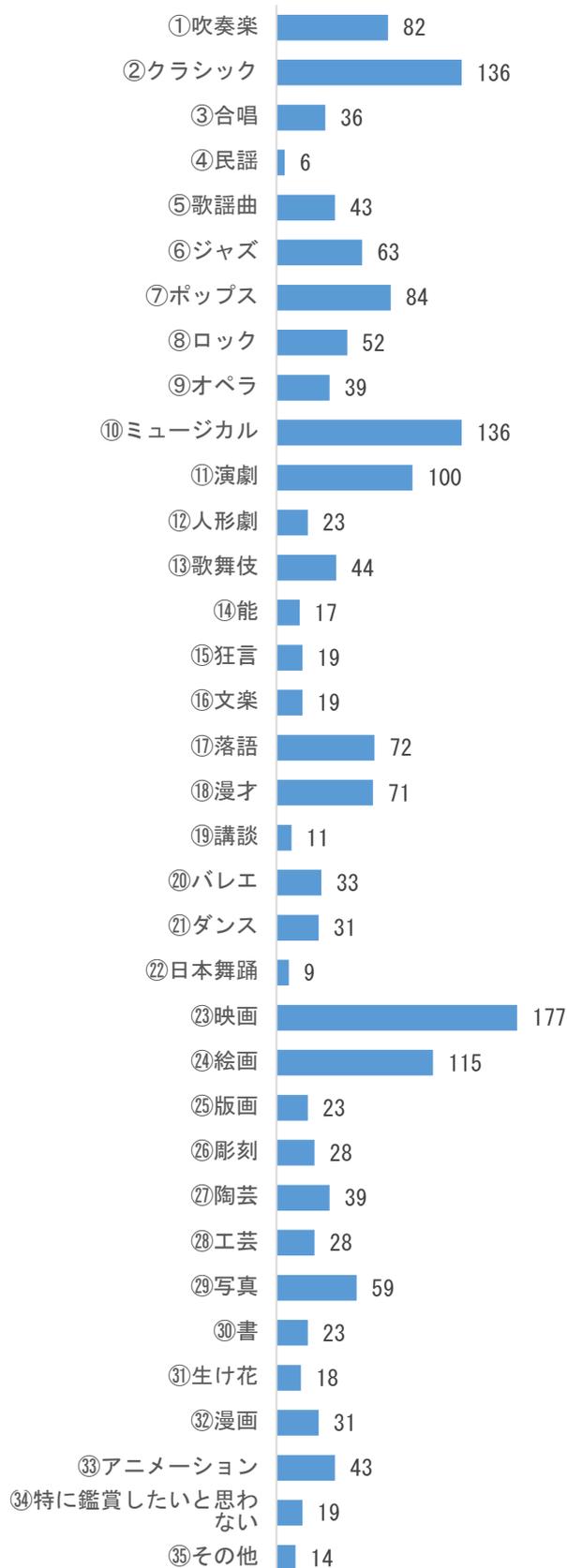


【考察】

文化芸術の鑑賞をしなかった回答として最も多かったのは、「興味ある催しものが少ない」の71件で、次いで「時間的余裕がない」の67件、「入場料が高い」の50件と続きました。反対に「一緒に鑑賞する仲間がない」を理由として選んだのは13件と最も少ない結果となりました。鑑賞しなかった方に対して、多様な分野・事業を実施するとともに情報提供を行い、機会の提供をする必要があることがうかがえます。

問6. 今後、どのような文化芸術を鑑賞したいと思いますか。あてはまる番号を選んでください。(複数回答可)

選択項目	回答数 (件)
①吹奏楽	82
②クラシック	136
③合唱	36
④民謡	6
⑤歌謡曲	43
⑥ジャズ	63
⑦ポップス	84
⑧ロック	52
⑨オペラ	39
⑩ミュージカル	136
⑪演劇	100
⑫人形劇	23
⑬歌舞伎	44
⑭能	17
⑮狂言	19
⑯文楽	19
⑰落語	72
⑱漫才	71
⑲講談	11
⑳バレエ	33
㉑ダンス	31
㉒日本舞踊	9
㉓映画	177
㉔絵画	115
㉕版画	23
㉖彫刻	28
㉗陶芸	39
㉘工芸	28
㉙写真	59
㉚書	23



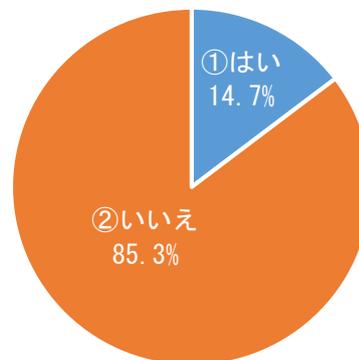
①生け花	18
②漫画	31
③アニメーション	43
④特に鑑賞したいと思わない	19
⑤その他	14

**【考察】**

今後鑑賞したい文化芸術の分野として最も回答が多かったのは、「映画」の177件、次いで、「クラシック」と「ミュージカル」が同数の136件となりました。その次に多かったのは「絵画」の115件で、「演劇」の100件が続きました。鑑賞の実績でも最も回答が多かった「映画」は市民の身近な文化芸術であることがうかがえます。「特に鑑賞したいと思わない」と回答があったのは19件のみで、市民の大半は文化芸術の鑑賞を希望していることがわかります。

問7. 文化芸術の「活動」についておたずねします。  
この1年間に文化芸術の分野で活動されましたか。

選択項目	回答数	割合
①はい	57	14.7
②いいえ	332	85.3
合計	389	



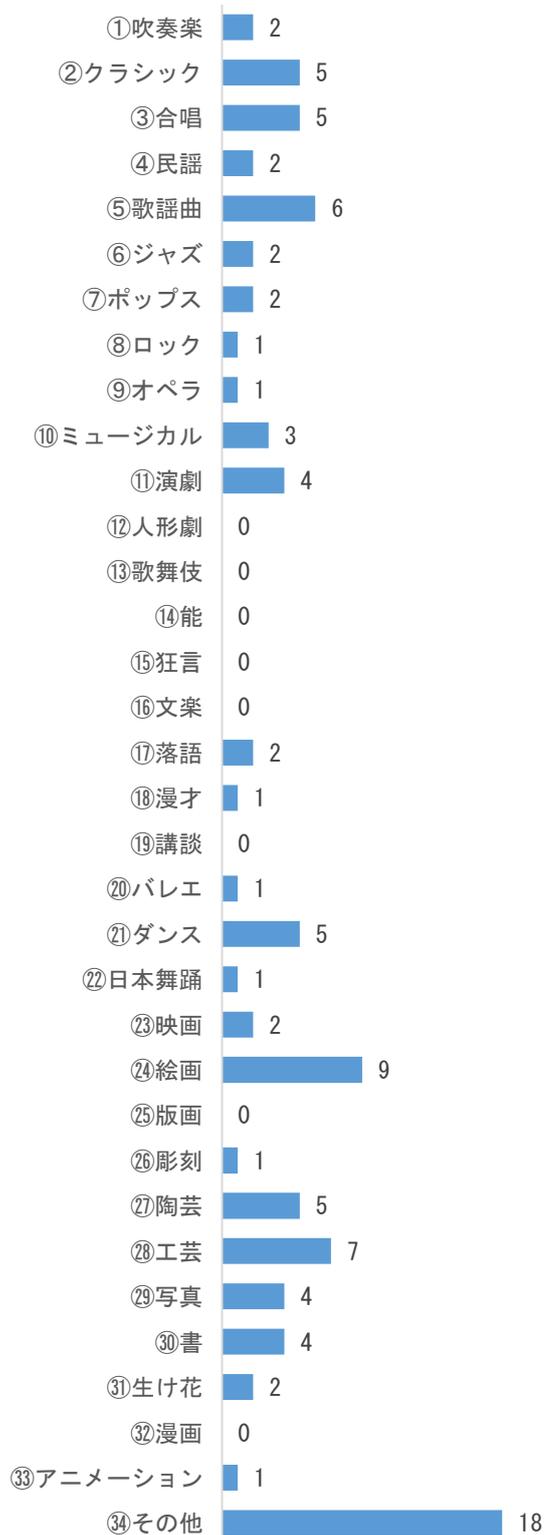
**【考察】**

文化芸術の分野で「活動した」と回答したのは、全体の約15%であり、多くの市民は自主的な文化芸術の活動を行えていない状況です。

【問7で①を選択した方にお聞きします。】

問8. この1年間に、どのような文化芸術の分野で活動されましたか。あるいは活動されていますか。あてはまる番号を選んでください。(複数回答可)

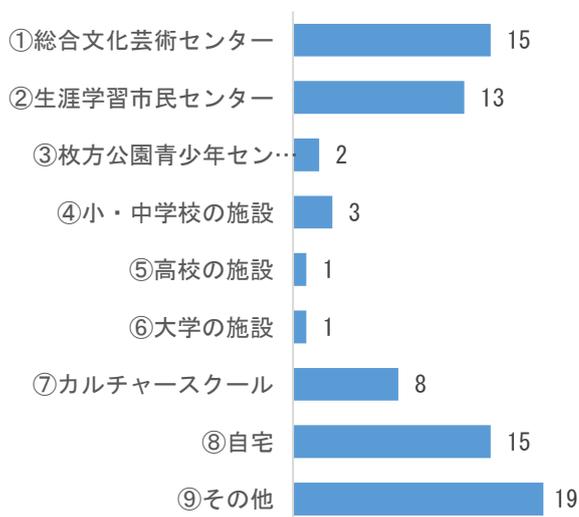
選択項目	回答数 (件)
①吹奏楽	2
②クラシック	5
③合唱	5
④民謡	2
⑤歌謡曲	6
⑥ジャズ	2
⑦ポップス	2
⑧ロック	1
⑨オペラ	1
⑩ミュージカル	3
⑪演劇	4
⑫人形劇	0
⑬歌舞伎	0
⑭能	0
⑮狂言	0
⑯文楽	0
⑰落語	2
⑱漫才	1
⑲講談	0
⑳バレエ	1
㉑ダンス	5
㉒日本舞踊	1
㉓映画	2
㉔絵画	9
㉕版画	0
㉖彫刻	1
㉗陶芸	5
㉘工芸	7



⑲写真	4
⑳書	4
㉑生け花	2
㉒漫画	0
㉓アニメーション	1
㉔その他	18

問9. 活動したのは、どちらの施設ですか。あてはまる番号を選んでください。  
(複数回答可)

選択項目	回答数 (件)
①総合文化芸術センター	15
②生涯学習市民センター	13
③枚方公園青少年センター	2
④小・中学校の施設	3
⑤高校の施設	1
⑥大学の施設	1
⑦カルチャースクール	8
⑧自宅	15
⑨その他	19



### 【考察】

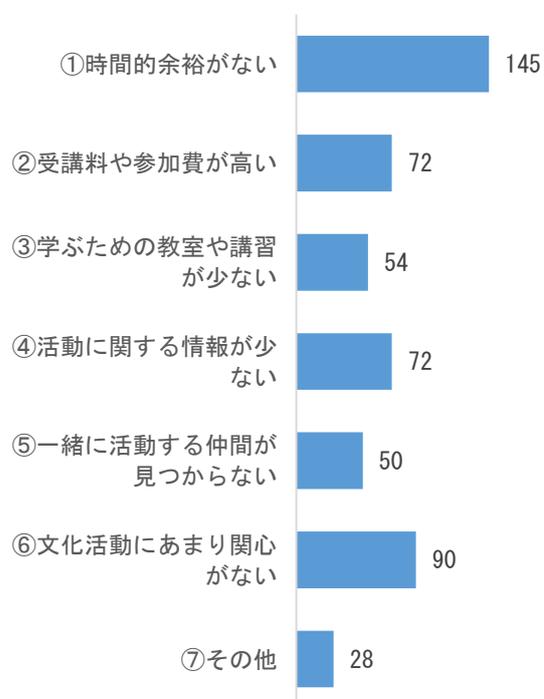
活動した分野として、最も多かったのは、「絵画」の9件、次いで「歌謡曲」の6件、「クラシック」、「合唱」、「ダンス」が同数の5件と続きました。その他の回答の意見としては、「茶道」や「動画編集」、「俳句」などがありました。

また、活動した施設として最も多かったのは「総合文化芸術センター」と「自宅」が同数の15件でした。市民の文化活動の場としても総合文化芸術センターが重要な施設になりつつあることがうかがえます。

【問7で②を選択した方にお聞きします。】

問 10. 文化芸術の活動をされなかったのはなぜですか。あてはまる番号を選んでください。(複数回答可)

選択項目	回答数 (件)
①時間的余裕がない	145
②受講料や参加費が高い	72
③学ぶための教室や講習が少ない	54
④活動に関する情報が少ない	72
⑤一緒に活動する仲間が見つからない	50
⑥文化活動にあまり関心がない	90
⑦その他	28



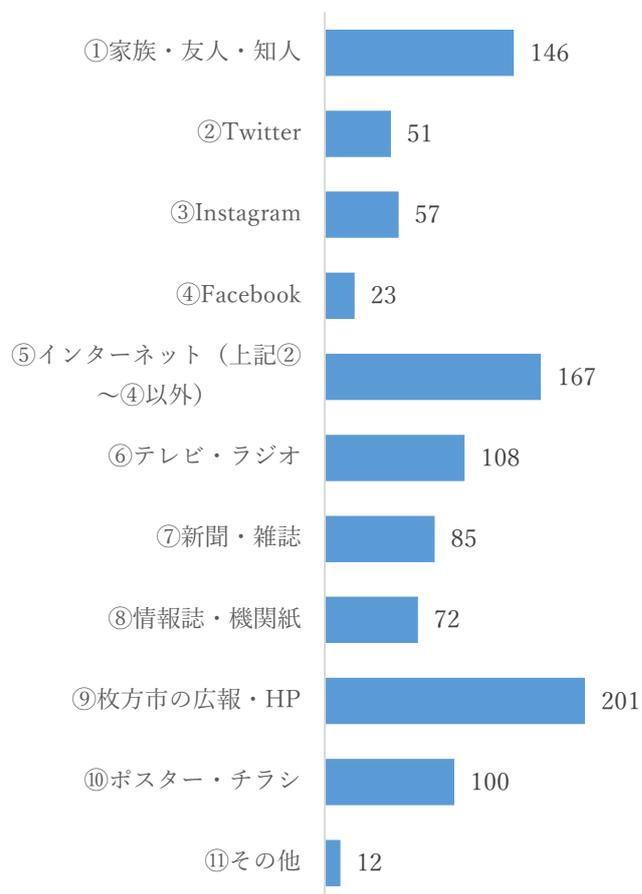
### 【考察】

活動しなかった理由として最も多かったのは、「時間的余裕がない」の145件でした。文化芸術を鑑賞しなかった理由でも回答が多かったこともあり、文化芸術に時間を割く余裕のない人が多い状況であることがわかります。次いで「文化活動にあまり関心がない」の90件、「受講料や参加費が高い」「活動に関する情報が少ない」が同数の72件でした。

問 11. 文化芸術の「情報」についておたずねします。

公演や展示会などの文化芸術情報は、主に何から入手していますか。あてはまる番号を選んでください。(複数回答可)

選択項目	回答数 (件)
①家族・友人・知人	146
②Twitter	51
③Instagram	57
④Facebook	23
⑤インターネット（上記②～④以外）	167
⑥テレビ・ラジオ	108
⑦新聞・雑誌	85
⑧情報誌・機関紙	72
⑨枚方市の広報・ホームページ	201
⑩ポスター・チラシ	100
⑪その他	12



### 【考察】

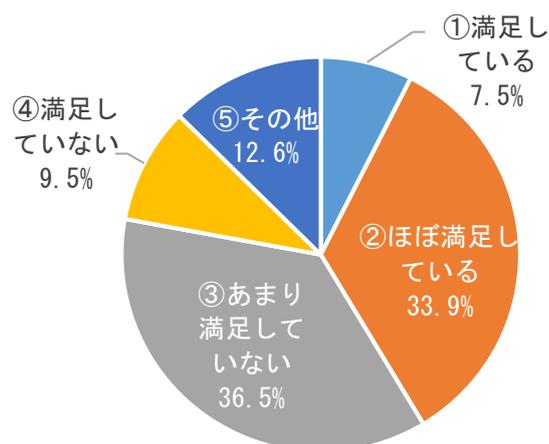
情報を得る方法として最も多かったのは、「枚方市の広報・ホームページ」でした。全回答者数 389 人の内、約 52%の人が文化芸術の情報を枚方市の広報・ホームページから得ている状況です。次いで、「インターネット」(Twitter、Instagram、Facebook を除く) の 167 件、「家族・友人・知人」の 146 件と続きました。

<文化芸術によるまちづくりについて>

問 12-1. 枚方市の「文化芸術環境（鑑賞機会、活動機会、施設の充実度など）」についておたずねします。

枚方市の文化芸術環境（鑑賞機会、活動機会、施設の充実度など）に満足していますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数	割合
①満足している	29	7.5
②ほぼ満足している	132	33.9
③あまり満足していない	142	36.5
④満足していない	37	9.5
⑤その他	49	12.6
合計	389	



問 12-2. その理由をお聞かせください。

「満足している」・「ほぼ満足している」と回答した人の意見として「施設が充実し、コンサートなども頻繁に行われている」「立派な総合文化芸術センターができてよかった」「入りやすい生涯学習市民センターが各地にあることも良い」などがありました。

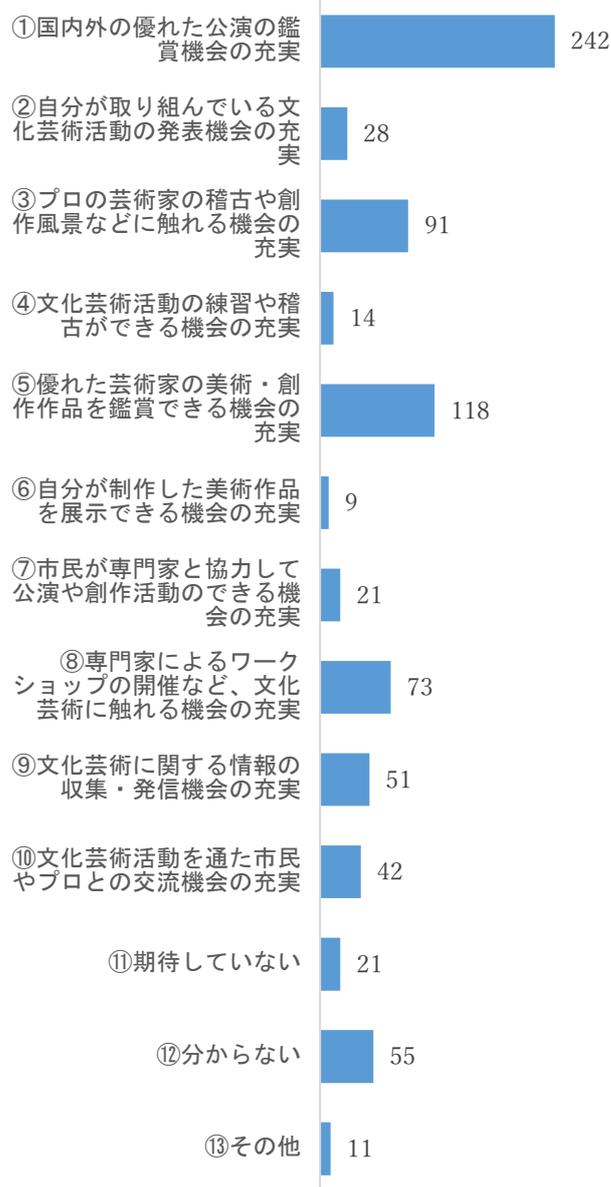
「満足していない」・「あまり満足していない」と回答した人の意見として、「鑑賞したいような催しが少ない」、「宣伝が足りない」、「子ども向け、赤ちゃん向けのものを増やしてほしい」「料金が高い」「総合文化芸術センターまでの距離が遠い」「日程が合わないことが多い」といった意見がありました。

#### 【考察】

文化芸術環境の満足度としては、「満足している」・「ほぼ満足している」と回答したのは41%で、「満足していない」・「あまり満足していない」と回答した46%を下回る結果となりました。

問 13. 枚方市は令和3年8月に文化芸術の拠点施設として、総合文化芸術センターを開館しましたが、今後このセンターに期待することについて、あてはまる番号を選んでください。(主なもの3つまで)

選択項目	回答数 (件)
①国内外の優れた公演の鑑賞 機会の充実	242
②自分が取り組んでいる文化 芸術活動の発表機会の充実	28
③プロの芸術家の稽古や創作 風景などに触れる機会の充実	91
④文化芸術活動の練習や稽古 ができる機会の充実	14
⑤優れた芸術家の美術・創作 作品を鑑賞できる機会の充実	118
⑥自分が制作した美術作品を 展示できる機会の充実	9
⑦市民が専門家と協力して公 演や創作活動のできる機会の 充実	21
⑧専門家によるワークショップ の開催など、文化芸術に触 れる機会の充実	73
⑨文化芸術に関する情報の収 集・発信機会の充実	51
⑩文化芸術活動を通じた市民 やプロとの交流機会の充実	42
⑪期待していない	21
⑫分からない	55
⑬その他	11

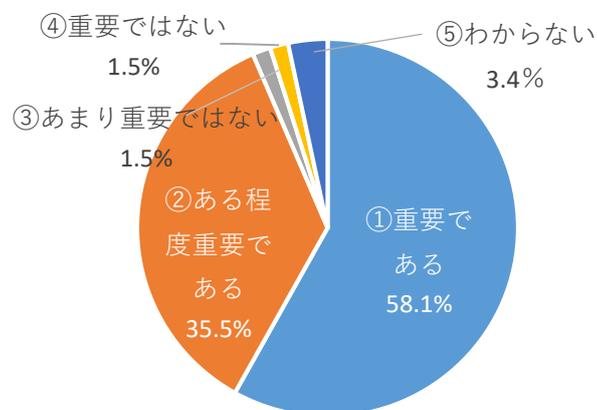


【考察】

総合文化芸術センターに期待することとして、最も多かったのは、「国内外の優れた公演の鑑賞機会の充実」の242件でした。次いで「優れた芸術家の美術・創作作品を鑑賞できる機会の充実」の118件、「プロの芸術家の稽古や創作風景などに触れる機会の充実」の91件が続きました。専門家や質の高い芸術に触れる機会へのニーズが高いことがわかります。

問 14. 次代を担う「子どもの文化芸術体験」についておたずねします。  
子どもの文化芸術体験は重要だと思いますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

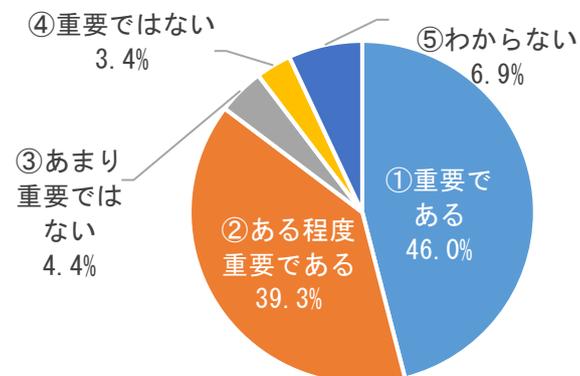
選択項目	回答数	割合
①重要である	226	58.1
②ある程度重要である	138	35.5
③あまり重要ではない	6	1.5
④重要ではない	6	1.5
⑤わからない	13	3.4
合計	389	



問 15. 文化芸術の振興を図るために、地域の文化芸術を担う「人材の育成」についておたずねします。

文化芸術の振興を図るために、地域の文化芸術活動の担い手となる人材の育成を行うことは重要だと思いますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

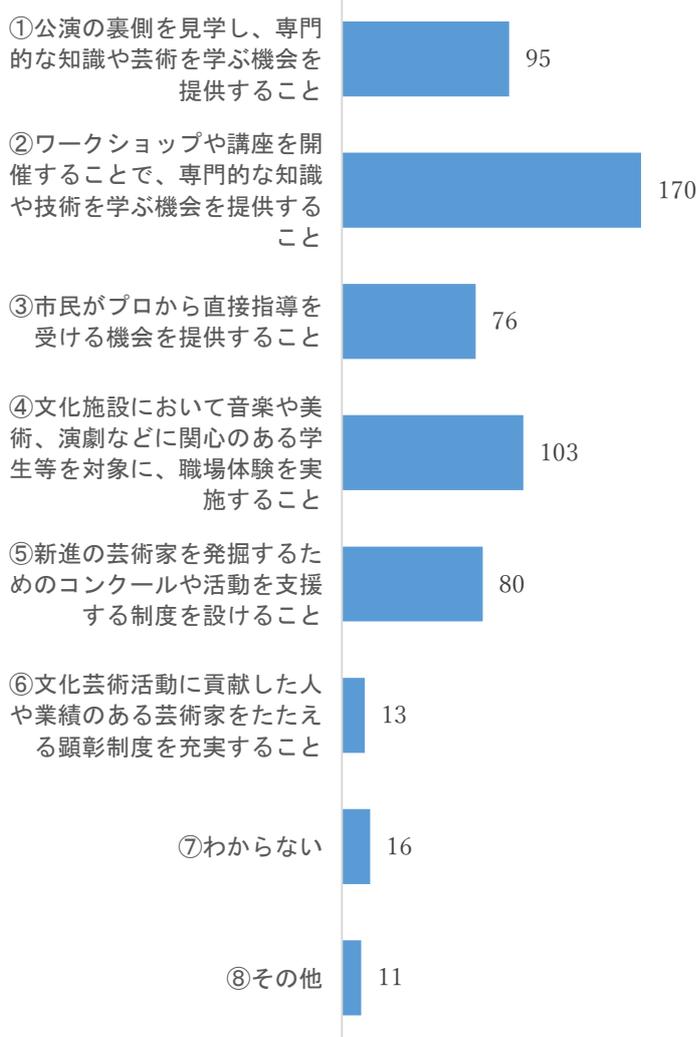
選択項目	回答数	割合
①重要である	179	46.0
②ある程度重要である	153	39.3
③あまり重要ではない	17	4.4
④重要ではない	13	3.4
⑤わからない	27	6.9
合計	389	



【問 15 で①②を選んだ方にお聞きします。】

問 16. 文化芸術を担う人材の育成のために、具体的に重視すべき取り組みは、どのようなことだと思いますか。あてはまる番号を選んでください。(主なもの2つまで)

選択項目	回答数 (件)
①公演の裏側を見学し、専門的な知識や芸術を学ぶ機会を提供すること	95
②ワークショップや講座を開催することで、専門的な知識や技術を学ぶ機会を提供すること	170
③市民がプロから直接指導を受ける機会を提供すること	76
④文化施設において音楽や美術、演劇などに関心のある学生等を対象に、職場体験を実施すること	103
⑤新進の芸術家を発掘するためのコンクールや活動を支援する制度を設けること	80
⑥文化芸術活動に貢献した人や業績のある芸術家をたたえる顕彰制度を充実すること	13
⑦わからない	16
⑧その他	11



### 【考察】

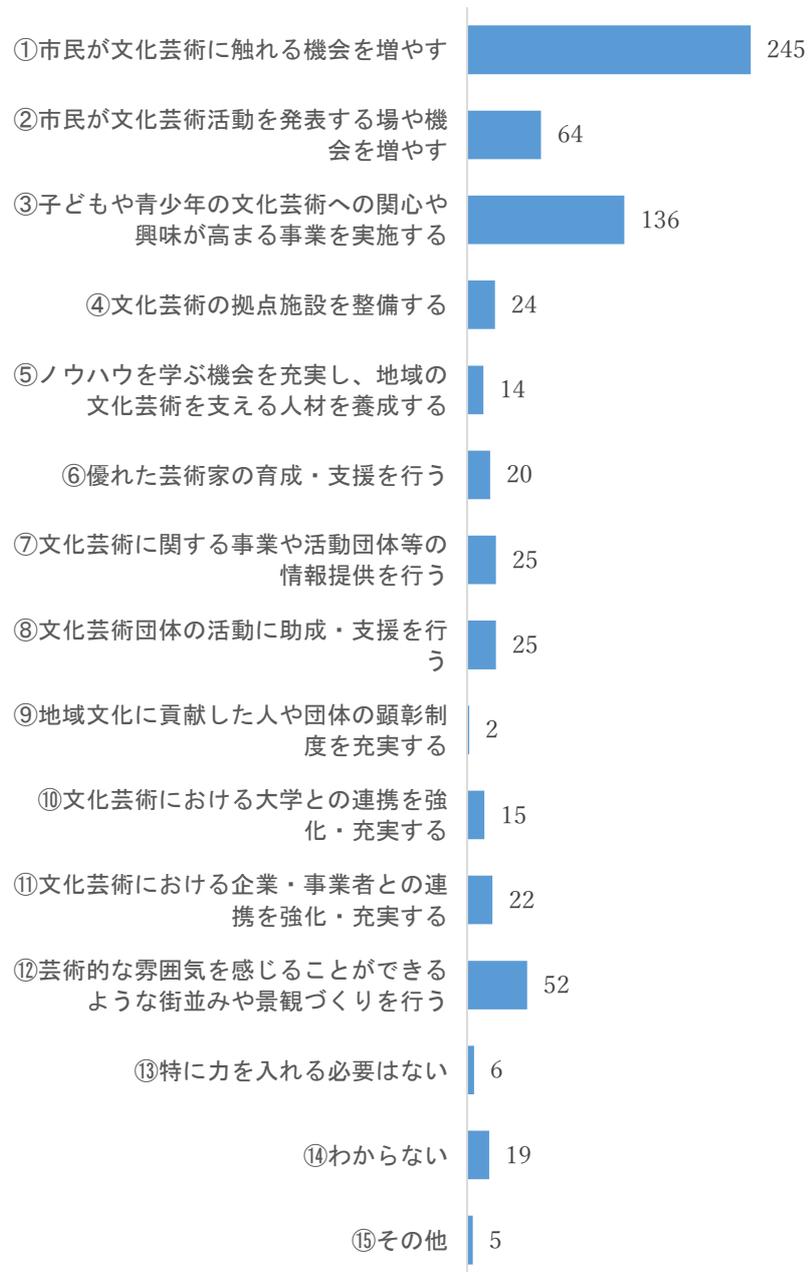
子どもの文化芸術体験及び人材の育成についてはいずれも「重要である」・「ある程度重要である」と回答した人が大半を占めており、多くの市民にとって、若い世代への鑑賞機会や育成機会の提供を重要視していることがわかります。

文化芸術を担う人材を育成する上で重視すべきこととして最も多かったのは、「ワークショップや講座を開催することで、専門的な知識や技術を学ぶ機会を提供すること」の170件で、該当回答者数の50%以上が重視すべきと回答しました。

問 17. 文化芸術による「文化芸術にあふれたまちづくり」についておたずねします。

文化芸術にあふれたまちづくりを進める上で、「特に力をいれるべき取り組み」はどのようなことだと思いますか。あてはまる番号を選んでください。(主なもの2つまで)

選択項目	回答数 (件)
①市民が文化芸術に触れる機会を増やす	245
②市民が文化芸術活動を発表する場や機会を増やす	64
③子どもや青少年の文化芸術への関心や興味が高まる事業を実施する	136
④文化芸術の拠点施設を整備する	24
⑤ノウハウを学ぶ機会を充実し、地域の文化芸術を支える人材を養成する	14
⑥優れた芸術家の育成・支援を行う	20
⑦文化芸術に関する事業や活動団体等の情報提供を行う	25
⑧文化芸術団体の活動に助成・支援を行う	25
⑨地域文化に貢献した人や団体の顕彰制度を充実する	2
⑩文化芸術における大学との連携を強化・充実する	15
⑪文化芸術における企業・事業者との連携を強化・充実する	22
⑫芸術的な雰囲気を感じることができるよう街並みや景観づくりを行う	52
⑬特に力を入れる必要はない	6
⑭わからない	19
⑮その他	5



### 【考察】

文化芸術にあふれたまちづくりに必要な「特に力を入れるべき取り組み」として最も回答が多かったのは、「市民が文化芸術に触れる機会を増やす」でアンケート回答者数の63%にあたる245人が回答しました。次いで「子どもや青少年の文化芸術への関心や興味が高まる事業を実施する」で34%にあたる136人が回答しました。直接文化芸術に触れられる機会のニーズが高いことがわかります。

問 18. 枚方市が文化芸術にあふれたまちづくりを進める上で、「枚方らしさ」を出すためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あなたのお考えを自由にご記入ください。

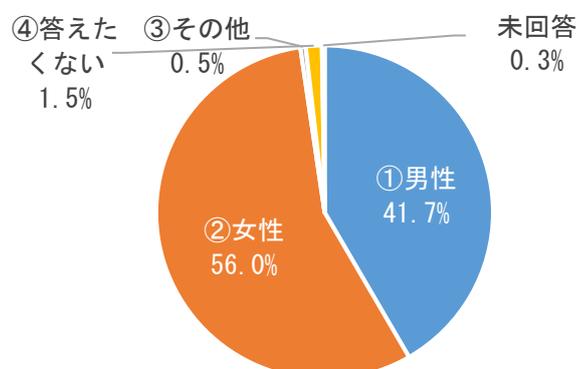
- ・枚方に来なければ体験できないこと、例えばくらわんか船こぎ体験、くらわんか屋台、川渡り競争、漢字の由来講座、枚方市観光ポイントゲームアプリ。
- ・枚方市にゆかりのある人のコンサートなど
- ・枚方市の文化芸術に対する方針・考え方がどれだけ市民に広報されているか不明です。まず、そのあたりからの取り組みが必要かと思われます。
- ・枚方らしさが分からない。菊人形と関わったものはいかがでしょうか。
- ・枚方という地域性というものに拘らず、世界に向けて発信できる自由大胆でパワフルな才能を持つアーティストを育て上げる。発掘するシステムを作る。それらが結果として枚方市の評価を高くできるかと思ひます。
- ・枚方市内には、比較的多くの高校、大学があるので、生徒、学生を巻き込むのも良いかなあー、と思う。
- ・地域の文化資源の保護・活用と振興拠点を強化していくための方策
- ・枚方らしさという、こうあるべきという昔からの固定観念等に縛られるのではなく、枚方生まれ、枚方育ちの人が文化芸術を発信していけば、それが「枚方らしさ」になっていくと思ひます

<あなたご自身について>

問 19. あなたご自身についておたずねします。

性別について、あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数	割合
①男性	162	41.7
②女性	218	56.0
③その他	2	0.5
④答えたくない	6	1.5
未回答	1	0.3
合計	389	



問 20. 枚方市の今後の文化芸術振興について、ご意見や要望等がありましたら、自由にご記入ください。

- とにかく、枚方市の文化芸術振興に繋がる施策・計画をすべてやることを念頭に置いて取り組む。
- 素敵なホールができたと思う。子供の合唱の発表を見に行ったけど、とても感動しました。
- 小学校での小さな文化芸術にふれる機会があると子供の感性が豊かになり文化芸術にあふれたまちづくりに近づくと思います。小さな時のインパクトある体験は将来に影響すると思うためです。
- クラシックや、ミュージカルなどの充実を期待している。
- せっかく新しいホールが出来てうれしいですがまだまだ気軽に見れる催しが少ないと思います。バレエやミュージカルはどんどんして欲しいです。
- 生活が困窮している子供にも、せめて小中学校の間くらいは、やりたいと思うことに取り組めるように、経済的な負担を軽くするなど子供たちの環境を整えて行って欲しいと思う。子供の友人で府内へ移動する交通費や楽器のメンテナンス道具の費用などを保護者に出してもらえない子がいたりしたので。
- 大きなきれいなホールができてとても良いと思いました。その場所を中心とした交通アクセスや情報の発信が充実してネットでもすぐ見られる様にしてほしいです。そのうちその場所にも行けなくなったりする為  
(高齢になったら遠くまで行けないので) バスも少ないです。市駅からも歩くとなると少しあります
- 幼児子供向けの鑑賞がたくさんあるといいです。
- 子どもたちが芸術を身近に体験できる機会をできるだけ多く持ち、将来に亘って関心を持ち続けることができるように取組みいただければと思います。
- 市の広報にセンターや商業施設で開催される文化活動の一覧などがあれば行く機会になるのでは

## 【まとめ】

本アンケートは市民の皆様の文化芸術活動の現状についてお伺いし、今後の市の文化芸術施策において活かしていくため実施させていただきました。

結果の考察としては、文化芸術の鑑賞については、60%の方が「経験あり」と回答しており、鑑賞した施設の内、市内の施設で最も多かったのは総合文化芸術センターという結果になりました。2021年8月に開館した総合文化芸術センターが本市の文化芸術の拠点施設として市民の方々に浸透しつつあることがうかがえました。鑑賞経験のない方からは、「興味のある催しものが少ない」という回答が多かったため、より多彩な事業を展開していく必要があります。

文化芸術の活動については活動したと回答いただいたのは全体の15%であり、多くの市民が自主的な文化芸術活動を行えていないことがわかりました。

いただいた意見を踏まえ、鑑賞、活動のいずれも広く市民の方々に機会を提供し、発信していくことが必要であると感じております。本市の文化芸術施策の更なる充実のため、取り組んでまいります。

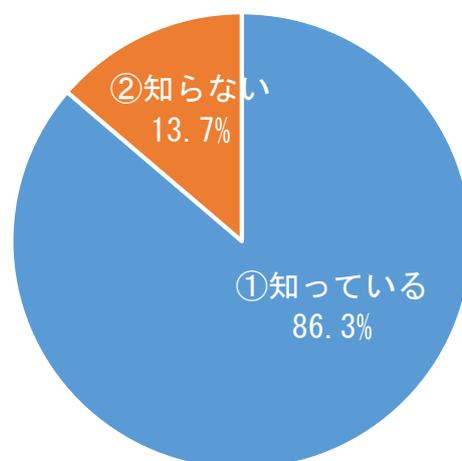
## 4. 枚方市の文化芸術の環境や施策に関するアンケート

本市では、文化芸術に満ちあふれたまちづくりを目指し、枚方市文化芸術振興条例を策定し、枚方市文化芸術振興計画に基づき、大阪フィルハーモニー交響楽団との連携による「中学校オーケストラ鑑賞事業」や、小学校にアーティストが外向いて実演する「アウトリーチ事業」など、子どもたちが文化芸術に親しむ機会の創出や、2021年8月にオープンした総合文化芸術センターにおいて、音楽、演劇、古典芸能などの多彩な公演やワークショップ、ギャラリー展示会などを開催しています。

つきましては、市民の皆様が本市の文化芸術についてどう感じていらっしゃるのかを知り、今後の施策に活かしていきたいと考え、アンケートを実施したものです。

問1. 枚方市の文化芸術の拠点施設として2021年8月に開館した枚方市総合文化芸術センターを知っていますか。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①知っている	346	86.3
②知らない	55	13.7
合計	401	

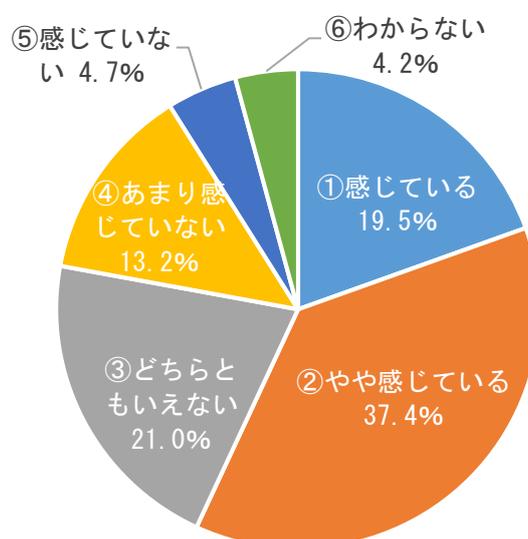


【要約・考察】

85%以上の方から枚方市総合文化芸術センターを「知っている」との回答を得ました。

問2. 枚方市では、文化芸術に親しめる環境が整っていると感じていますか。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①感じている	78	19.5
②やや感じている	150	37.4
③どちらともいえない	84	21.0
④あまり感じていない	53	13.2
⑤感じていない	19	4.7
⑥わからない	17	4.2
合計	401	



【要約・考察】

「感じている」、「やや感じている」の合計は全体の約56.9%と半数を超えており、「感じていない」、「あまり感じていない」の合計の約17.9%を大幅に上回る結果になりました。要因としては、令和3年(2021年)8月に本市の文化芸術の拠点施設となる総合文化芸術センターが開館したことでより身近に、多彩な文化芸術を鑑賞していただける機会が増えたことや、発表活動の場としてご利用いただくことで、市民の文化芸術への関心が高まったと考察します。

問 3. 枚方市のこれからの文化芸術施策に関して、ご意見があればご自由にご記入ください。

<いただいたご意見>

- ・文化芸術センターでのイベントを利用し音楽や芸術など色々なイベントを実施している事を知りました。建物自体の存在は知っていたが、色々なジャンルのイベントをしているのをほぼ知らなかった。知るきっかけは、枚方市のLINE登録で色々な情報が送られて、たまたま自分の興味あるイベントがあり参加させていただき、それ以降も何回か利用させていただいております。文化芸術にまず触れるきっかけの部分が非常に大切であると感じました。文化芸術に興味がある方は一度きっかけさえ掴むと自分で色々調べたりするので、まず最初の入口部分の充実をどうしていくかが大切であると感じました。文化芸術にある程度と興味がある方の掘り起こしをすれば、自然に増えてくるものであると思いました。
- ・いろいろな分野（オペラ、ジャズ、クラシック、演劇など）の企画を安い価格で提供して欲しい。
- ・子どもたちが小さいころから音楽や演劇、文学といった文化芸術に触れることのできるイベントをたくさん企画してほしい。例えば、定期的に子供向けのオーケストラの演奏会や、体験型の音楽、演劇イベントなど。
- ・赤ちゃん・子どもと一緒に楽しめる、または保育付きの催しが増えれば嬉しいです。
- ・近隣の市の老人介護施設でケアマネージャーをしています。コロナも少しずつ落ち着いてきたため、小学校だけでなく、高齢施設等にも出向いていただけると高齢者の方も大変喜ばれると思います。よろしく願いいたします。
- ・小中学生に文化芸術に親しむ機会を少しずつ増やしてほしいです。親が興味をしめさない家庭だとその子供は文化芸術に貧しい体験しかできないと思うので、学校単位の授業の一環として組み込めるといいと思います。

主に枚方市総合文化芸術センターについて、多種多様な分野の文化事業を期待する内容や、子ども向け事業、保育付き事業の充実、無料イベントの開催を希望するご意見を多くいただきました。また、情報発信方法の改善や市駅周辺以外での文化事業の実施を求めるといった今後の文化施策について多様なご意見をいただきました。

## 【まとめ】

本アンケートは市民の皆様が本市の文化芸術についてどう感じているかを知り、今後の施策に活かすため、実施させていただきました。

結果の考察については、約 86.3%の方に 2021 年 8 月に開館しました文化芸術の拠点施設である枚方市総合文化芸術センターの存在を知っていただいていることから、昨年度の約 82.2%を上回っており、認知度が上がっている結果となりました。また、本市において約 56.9%の方が文化芸術に親しめる環境が整っていると「感じている」、「やや感じている」ことがわかりました。

ただ、今後の本市の文化芸術施策に関し問 3 の自由記述においては、総合文化芸術センターを拠点に、様々なジャンルな文化芸術機会の創出や、より一層子どもたちに文化芸術に触れる機会を望む声、保育付きの事業の実施、安価な事業の実施など、様々な状況下の市民に対する文化芸術機会の提供を希望するお声を多くいただきました。

いただいたご意見を踏まえ、今後も総合文化芸術センターが市民に愛され、ご利用いただける施設として確立するとともに、本市の文化芸術行政のさらなる推進に取り組んでまいります。

## 5. 枚方市総合交通計画の改定に関するアンケート

私たちは、通勤や通学、買い物、通院、娯楽など、日々の暮らしの中で、鉄道、バス、タクシーなどの公共交通や、自家用車や自転車、そして徒歩などの様々な交通手段を利用しています。このように交通は、私たちの生活に直結するとともに、産業やまちの賑わいなど経済活動を支え、環境や教育、福祉、健康など、様々な行政分野に大きく影響します。

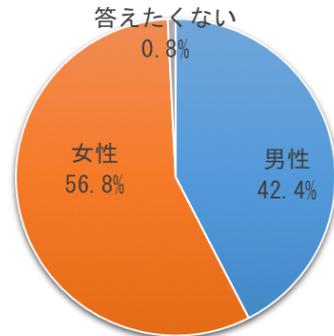
本市では、現在、市の交通施策の方向性を示す「枚方市総合交通計画」の改定に取り組んでいます。

この改定にあたって、地域住民の移動実態や交通施策に対する意向などを把握した上で、市の施策の方向性や具体的な施策内容を検討するため、アンケート調査を実施したものです。

あなたご自身のことについておたずねします。

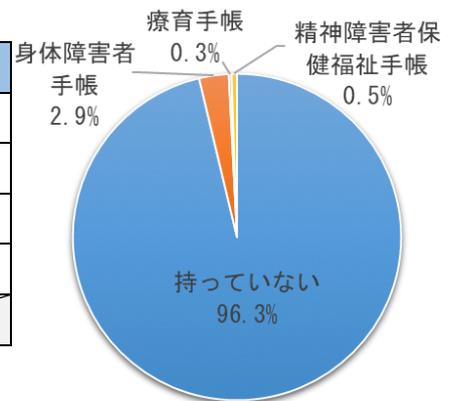
問1. 性別

選択項目	回答数(人)	割合(%)
男性	160	42.4
女性	214	56.8
答えたくない	3	0.8
合計	377	



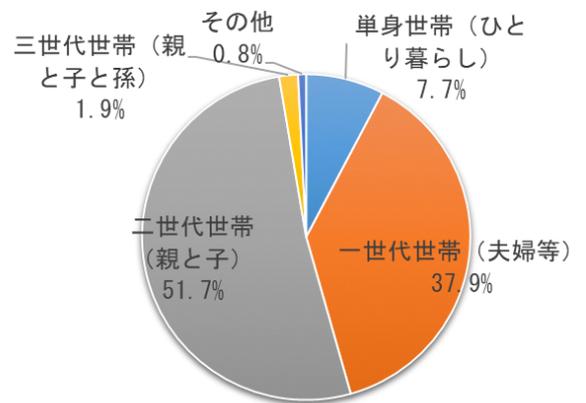
問2. 障害者手帳の有無

選択項目	回答数(人)	割合(%)
持っていない	363	96.3
身体障害者手帳	11	2.9
療育手帳	1	0.3
精神障害者保健福祉手帳	2	0.5
合計	377	



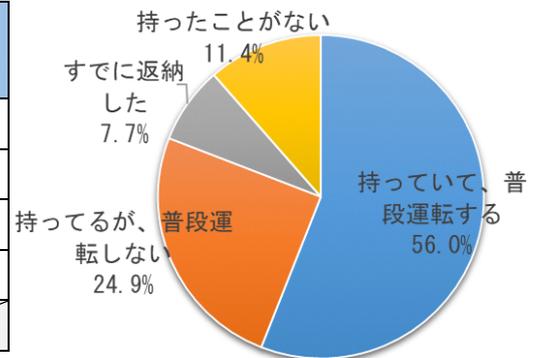
問3. 同居の家族構成

選択項目	回答数(人)	割合(%)
単身世帯 (ひとり暮らし)	29	7.7
一世代世帯 (夫婦等)	143	37.9
二世帯世帯 (親と子)	195	51.7
三世帯世帯 (親と子と孫)	7	1.9
その他	3	0.8
合計	377	



問4. 自動車免許保有及び運転状況

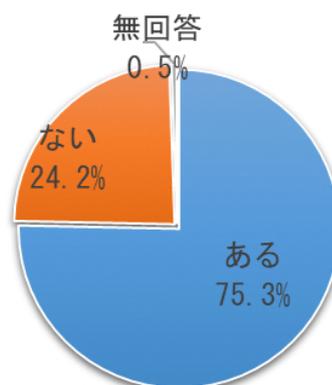
選択項目	回答数(人)	割合(%)
持っている、普段運転する	211	56.0
持っているが、普段運転しない	94	24.9
すでに返納した	29	7.7
持ったことがない	43	11.4
合計	377	



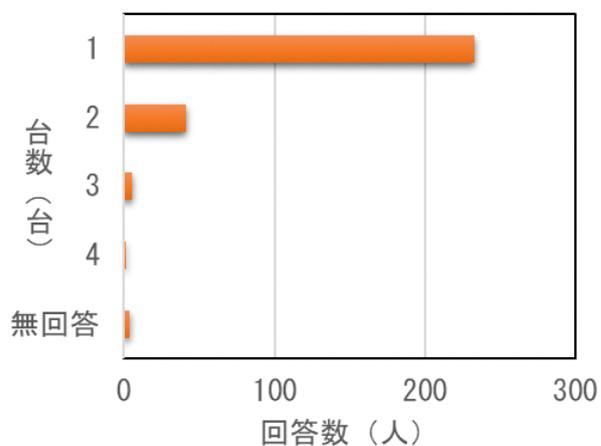
問5. 世帯としての車両の保有状況

問5-1. 自家用車

選択項目	回答数(人)	割合(%)
ある	284	75.3
ない	91	24.2
無回答	2	0.5
合計	377	

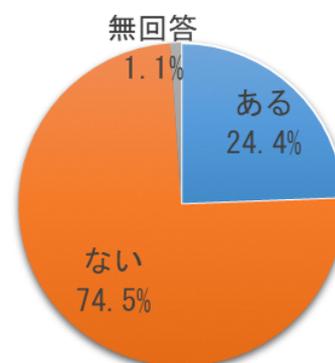


台数	回答数(人)	割合(%)
1	233	82.0
2	41	14.4
3	5	1.8
4	1	0.4
無回答	4	1.4
合計	284	

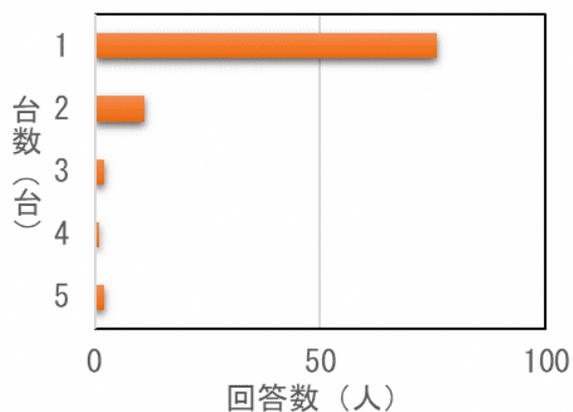


問5-2. バイク

選択項目	回答数(人)	割合(%)
ある	92	24.4
ない	281	74.5
無回答	4	1.1
合計	377	

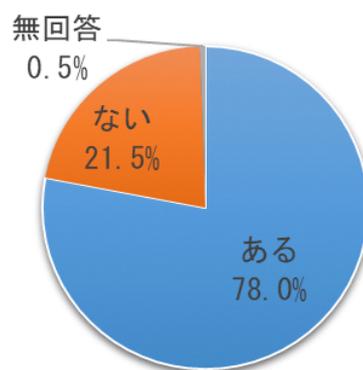


台数	回答数(人)	割合(%)
1	76	82.6
2	11	11.9
3	2	2.2
4	1	1.1
無回答	2	2.2
合計	92	

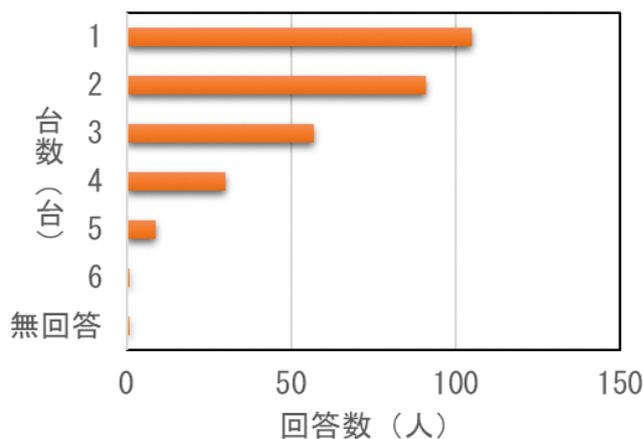


問5-3. 自転車

選択項目	回答数(人)	割合(%)
ある	294	78.0
ない	81	21.5
無回答	2	0.5
合計	377	



台数	回答数(人)	割合(%)
1	105	35.7
2	91	31.0
3	57	19.4
4	30	10.2
5	9	3.1
6	1	0.3
無回答	1	0.3
合計	294	



【考察】

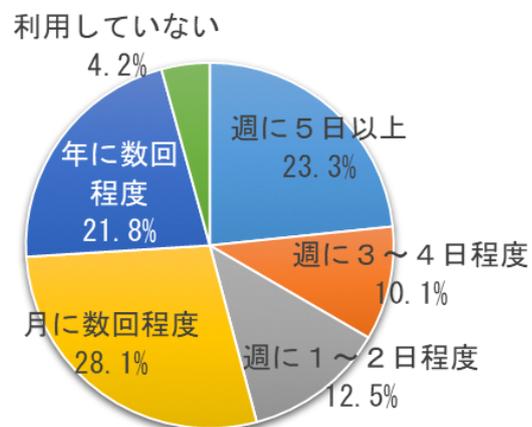
回答の半数程度が、「普段から運転している」と回答があり、自家用車の保有状況も7割以上と、自動車の依存度が高いことがわかりました。また、自転車の保有状況も8割程度あり、自転車利用も多いことがわかりました。

公共交通（鉄道、バス、タクシー）についておたずねします。

< 鉄道の利用状況について >

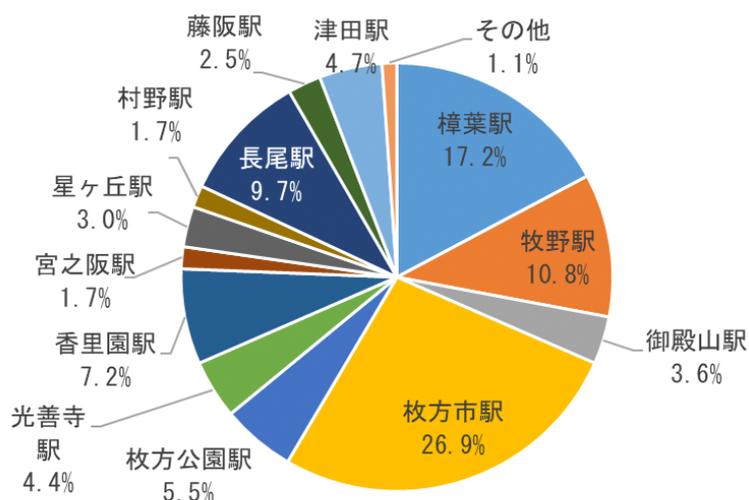
問6. 利用頻度について、あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数(人)	割合(%)
週に5日以上	88	23.3
週に3～4日程度	38	10.1
週に1～2日程度	47	12.5
月に数回程度	106	28.1
年に数回程度	82	21.8
利用していない	16	4.2
合計	377	



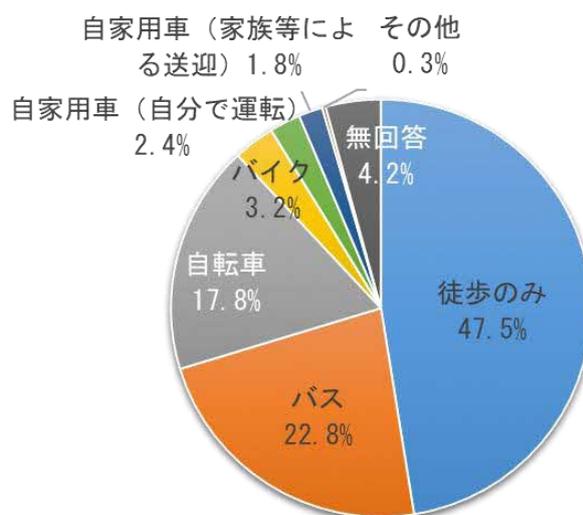
問7-1. よく利用する最寄りの駅を1つ教えてください。

選択項目	回答数 (件)	割合 (%)
樟葉駅	62	17.2
牧野駅	39	10.8
御殿山駅	13	3.6
枚方市駅	97	26.9
枚方公園駅	20	5.5
光善寺駅	16	4.4
香里園駅	26	7.2
宮之阪駅	6	1.7
星ヶ丘駅	11	3.0
村野駅	6	1.7
長尾駅	35	9.7
藤阪駅	9	2.5
津田駅	17	4.7
その他	4	1.1
合計	361	



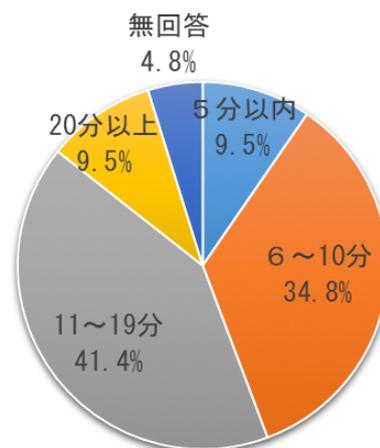
問7-2. ご自宅から最寄り駅までの主な移動手段

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
徒歩のみ	179	47.5
バス	86	22.8
自転車	67	17.8
バイク	12	3.2
タクシー	0	0
自家用車（自分で運転）	9	2.4
自家用車（家族等による送迎）	7	1.8
その他	1	0.3
無回答	16	4.2
合計	377	



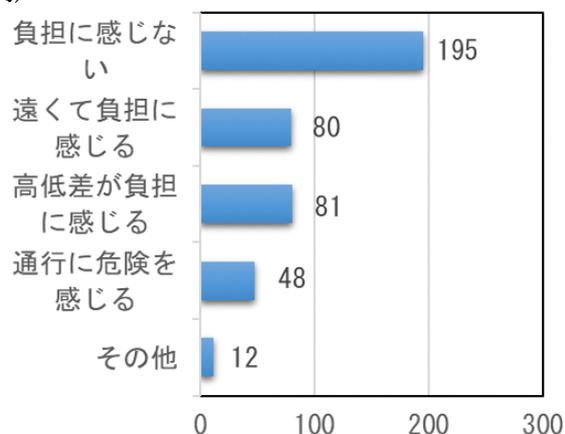
問7-3. その所要時間

選択項目	回答数(人)	割合(%)
5分以内	36	9.5
6～10分	131	34.8
11～19分	156	41.4
20分以上	36	9.5
無回答	18	4.8
合計	377	



問7-4. 最寄り駅までの移動の負担 (複数選択可)

選択項目	回答数(人)
負担に感じない	195
遠くて負担を感じる	80
高低差が負担を感じる	81
通行に危険を感じる	48
その他	12
合計	416

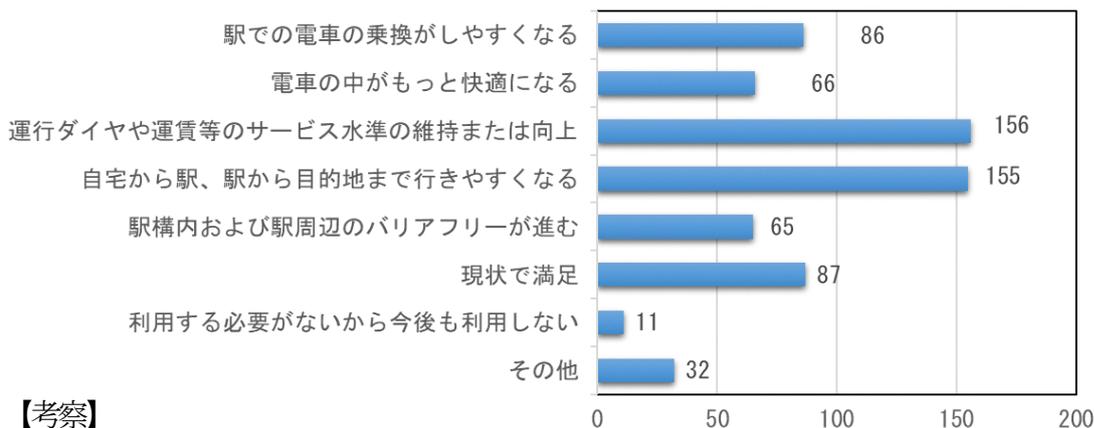


【考察】

駅までの主な移動手段は徒歩、バス、自転車との回答で9割程度を占め、20分未満の所要時間との回答も8割以上であることがわかりました。また、駅までの移動の負担については、「負担に感じない」と「感じる」の回答が同数程度であり、20分未満の所要時間でも負担に感じている方がいることがわかりました。

問8. どうなれば、もっと鉄道を利用しますか。3つまで選んでください。

選択項目	回答数(人)
駅での電車の乗換がしやすくなる	86
電車の中がもっと快適になる	66
運行ダイヤや運賃等のサービス水準の維持または向上	156
自宅から駅、駅から目的地まで行きやすくなる	155
駅構内および駅周辺のバリアフリーが進む	65
現状で満足	87
利用する必要がないから今後も利用しない	11
その他	32
合計	658



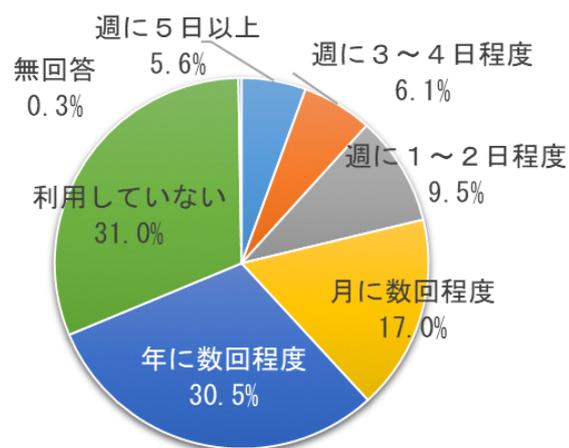
【考察】

鉄道をもっと利用するようになる取組として、「自宅から駅、駅から目的地まで行きやすくなる」または「運行ダイヤや運賃等のサービス水準の維持または向上」を望む声が多いことが分かりました。

<バスの利用状況について>

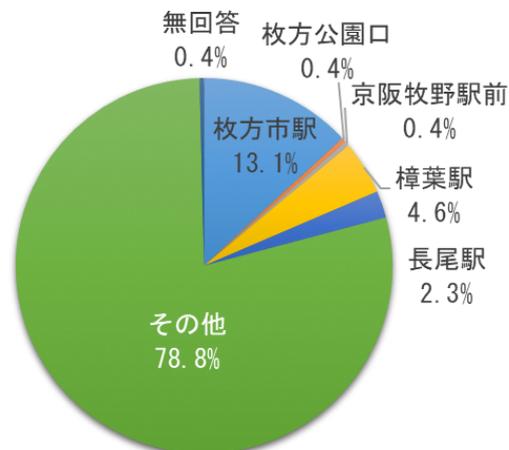
問9. 利用頻度について、あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数(人)	割合(%)
週に5日以上	21	5.6
週に3～4日程度	23	6.1
週に1～2日程度	36	9.5
月に数回程度	64	17.0
年に数回程度	115	30.5
利用していない	117	31.0
無回答	1	0.3
合計	377	



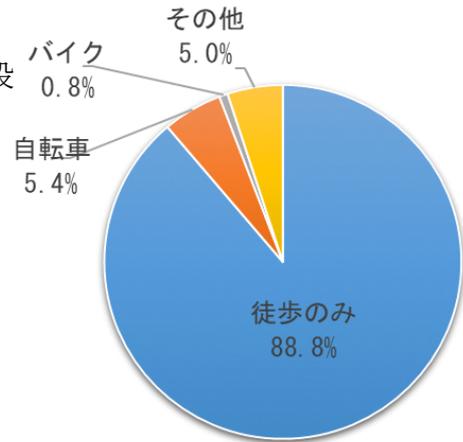
問10-1. よく利用する最寄りのバス停を1つ教えてください。

選択項目	回答数(件)	割合(%)
枚方市駅	34	13.1
枚方公園口	1	0.4
京阪牧野駅前	1	0.4
樟葉駅	12	4.6
長尾駅	6	2.3
その他	204	78.8
無回答	1	0.4
合計	260	



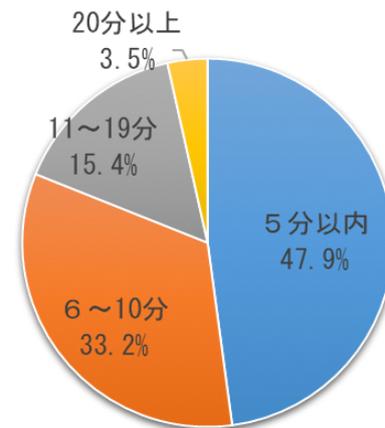
問10-2. ご自宅から最寄りのバス停までの主な移動手段

選択項目	回答数(人)	割合(%)
徒歩のみ	230	88.8
自転車	14	5.4
バイク	2	0.8
その他	13	5.0
合計	259	



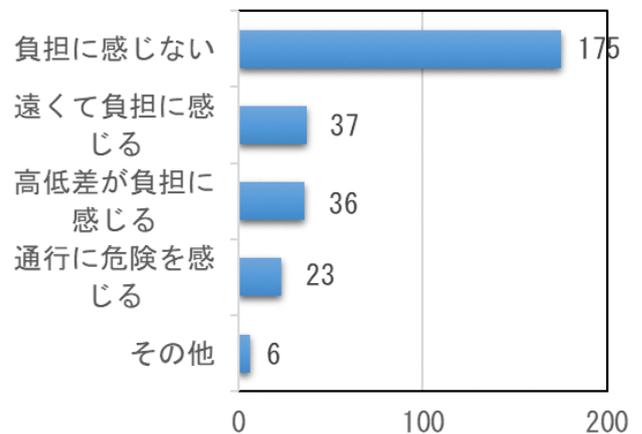
問10-3. その所要時間

選択項目	回答数(人)	割合(%)
5分以内	124	47.9
6～10分	86	33.2
11～19分	40	15.4
20分以上	9	3.5
合計	259	



問10-4. 最寄りのバス停までの移動の負担(複数選択可)

選択項目	回答数(人)
負担に感じない	175
遠くて負担に感じる	37
高低差が負担に感じる	36
通行に危険を感じる	23
その他	6
合計	277

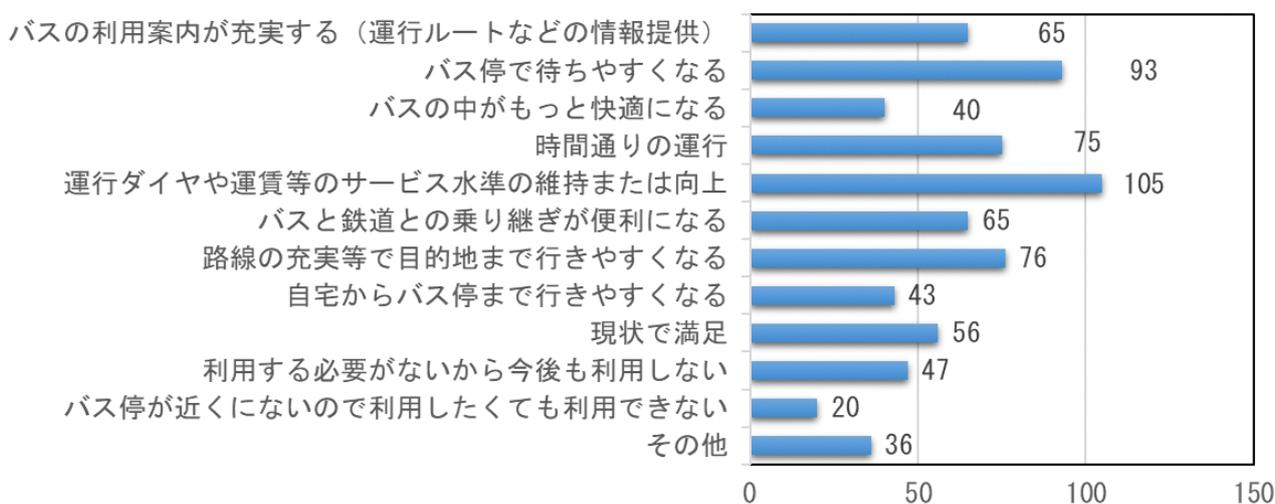


【考察】

バス停までの主な移動手段は徒歩が9割程度を占め、20分未満でバス停に到着するとの回答も9割以上であることがわかりました。また、バス停までの移動の負担については、負担に感じない方が6割以上であることがわかりました。

問11. どうなれば、もっとバスを利用しますか。3つまで選んでください。

選択項目	回答数（人）
バスの利用案内が充実する（運行ルートなどの情報提供）	65
バス停で待ちやすくなる	93
バスの中がもっと快適になる	40
時間通りの運行	75
運行ダイヤや運賃等のサービス水準の維持または向上	105
バスと鉄道との乗り継ぎが便利になる	65
路線の充実等で目的地まで行きやすくなる	76
自宅からバス停まで行きやすくなる	43
現状で満足	56
利用する必要がないから今後も利用しない	47
バス停が近くにないので利用したくても利用できない	20
その他	36
合計	721



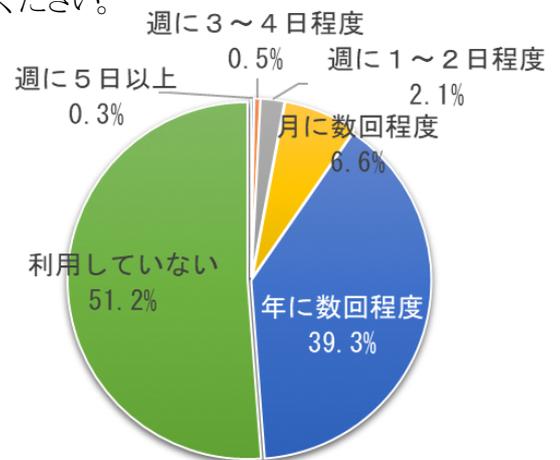
**【考察】**

バスをもっと利用するようになる取組として、「運行ダイヤや運賃等のサービス水準の維持または向上」の次に「バス停で待ちやすくなる」ことを望む声が多いことがわかりました。

<タクシーの利用状況について>

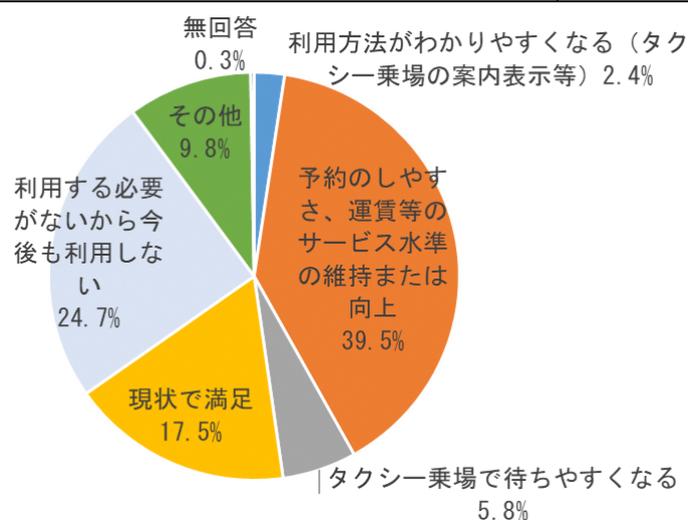
問12. 利用頻度について、あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数(人)	割合(%)
週に5日以上	1	0.3
週に3～4日程度	2	0.5
週に1～2日程度	8	2.1
月に数回程度	25	6.6
年に数回程度	148	39.3
利用していない	193	51.2
合計	377	



問13. どうなれば、もっとタクシーを利用しますか。1つ選んでください。

選択項目	回答数(人)	割合(%)
利用方法がわかりやすくなる(タクシー乗場の案内表示等)	9	2.4
予約のしやすさ、運賃等のサービス水準の維持または向上	149	39.5
タクシー乗場で待ちやすくなる	22	5.8
現状で満足	66	17.5
利用する必要がないから今後も利用しない	93	24.7
その他	37	9.8
無回答	1	0.3
合計	377	

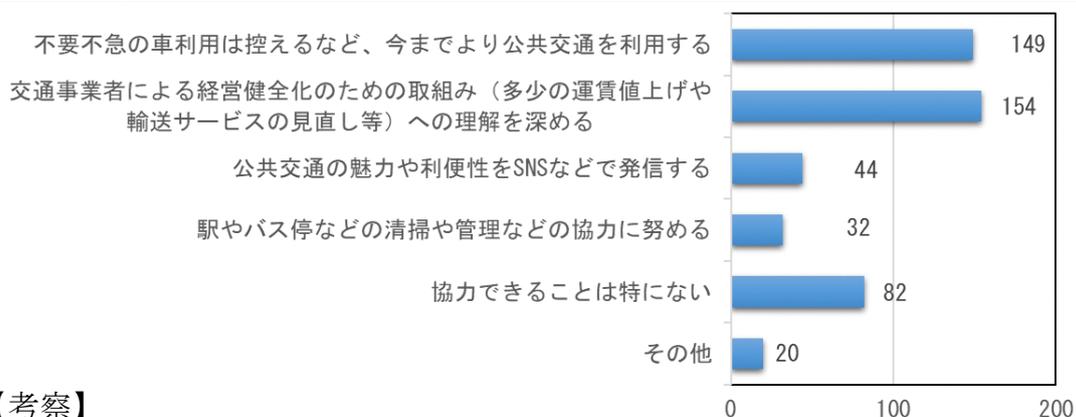


【考察】

タクシーをもっと利用するようになる取組として「予約のしやすさ、運賃等のサービス水準の維持または向上」を望む声が多いことがわかりました。

問14. 都市部でも運転手不足などにより、路線バスやタクシーなどの公共交通サービスを維持することが難しくなっていますが、市民生活に必要な公共交通を守るために、あなたが協力できることは何ですか。(複数選択可)

選択項目	回答数 (件)
不要不急の車利用は控えるなど、今までより公共交通を利用する	149
交通事業者による経営健全化のための取組み(多少の運賃値上げや輸送サービスの見直し等)への理解を深める	154
公共交通の魅力や利便性をSNSなどで発信する	44
駅やバス停などの清掃や管理などの協力を努める	32
協力できることは特にない	82
その他	20
合計	481



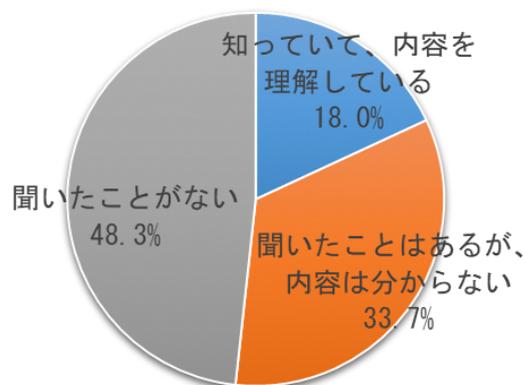
【考察】

「交通事業者による経営健全化のための取組みへの理解を深める」など、公共交通を守る協力への理解が深まっていることが分かりました。

<公共交通利用促進イベントについて>

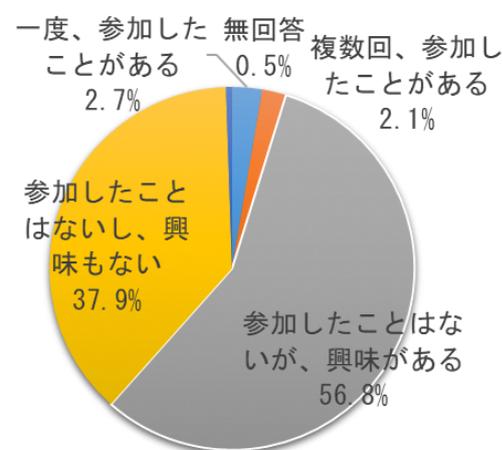
問15. NPO法人・枚方市・交通事業者が協働で実施している「バス!のってスタンプラリー」を知っていますか。

選択項目	回答数(人)	割合(%)
知っていて、内容を理解している	68	18.0
聞いたことはあるが、内容は分からない	127	33.7
聞いたことがない	182	48.3
合計	377	



問16. 参加したことがありますか。

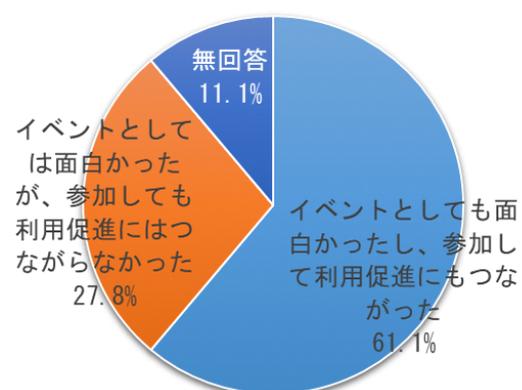
選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
一度、参加したことがある	10	2.7
複数回、参加したことがある	8	2.1
参加したことはないが、興味がある	214	56.8
参加したことはないし、興味もない	143	37.9
無回答	2	0.5
合計	377	



【問16で①、②と回答した方におたずねします。】

問17. 参加していかがでしたか。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
イベントとしても面白かったし、参加して利用促進にもつながった	11	61.1
イベントとしては面白かったが、参加しても利用促進にはつながらなかった	5	27.8
イベントは面白くなく、利用促進にも繋がらなかった	0	0.0
いずれでもない	0	0.0
無回答	2	11.1
合計	18	

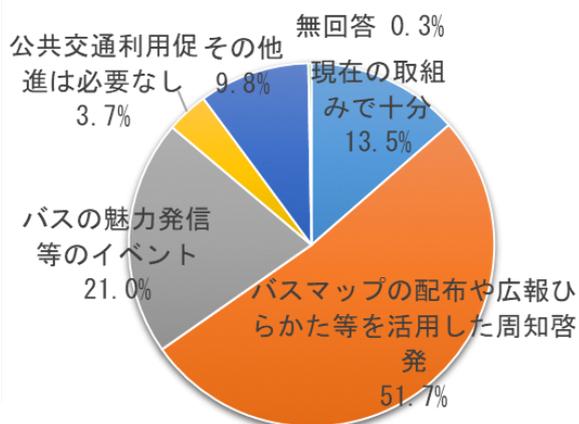


【考察】

「バス!のってスタンプラリー」を「知っている」または「聞いたことがある」という回答が5割以上あり、イベントが一定認知されていることがわかりました。また、「参加して利用促進につながった」との回答も6割程度あり、イベントの参加が利用促進につながったことが考えられます。

問18. 公共交通利用促進のためには、どのようなことをすればよいと思いますか。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
現在の取組みで十分	51	13.5
バスマップの配布や広報ひらかた等を活用した周知啓発	195	51.7
バスの魅力発信等のイベント	79	21.0
公共交通利用促進は必要なし	14	3.7
その他	37	9.8
無回答	1	0.3
合計	377	



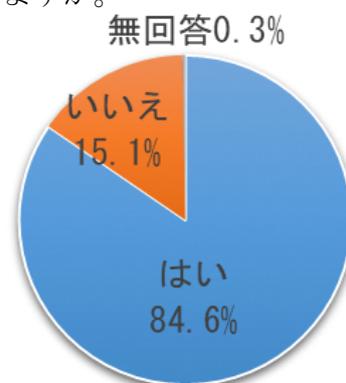
【考察】

公共交通利用促進のためには、「バスマップの配布や広報ひらかた等を活用した周知啓発」をすればよいとの回答が最も多いことがわかりました。

普段のおでかけについておたずねします。

問19. 通勤・通学・通院のために定期的な外出をしていますか。

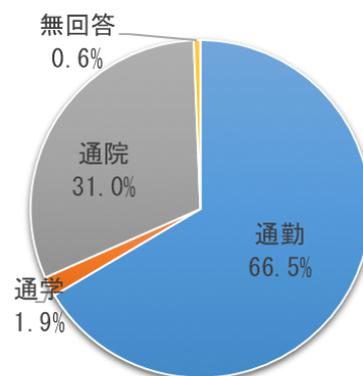
選択項目	回答数(人)	割合(%)
はい	319	84.6
いいえ	57	15.1
無回答	1	0.3
合計	377	



【問19で①と回答した方におたずねします。】

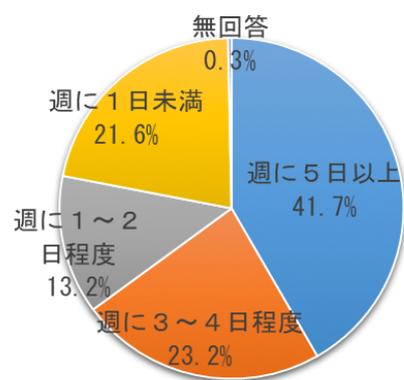
問20. 最も多い外出目的

選択項目	回答数(人)	割合(%)
通勤	212	66.5
通学	6	1.9
通院	99	31.0
無回答	2	0.6
合計	319	



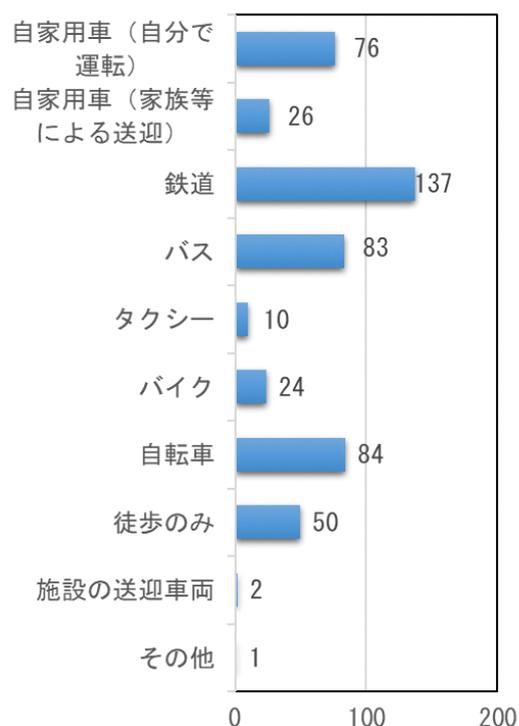
問 21. その外出頻度

選択項目	回答数(人)	割合(%)
週に5日以上	133	41.7
週に3～4日程度	74	23.2
週に1～2日程度	42	13.2
週に1日未満	69	21.6
無回答	1	0.3
合計	319	



問 22. その主な移動手段 (複数選択可)

選択項目	回答数(人)
自家用車(自分で運転)	76
自家用車(家族等による送迎)	26
鉄道	137
バス	83
タクシー	10
バイク	24
自転車	84
徒歩のみ	50
施設の送迎車両	2
その他	1
合計	493

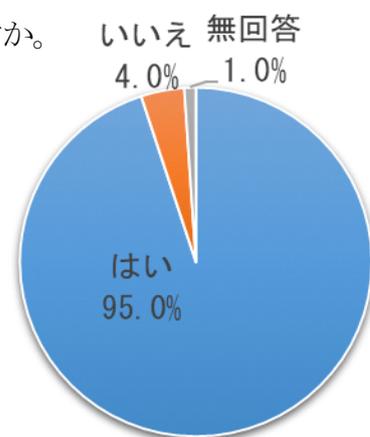


【考察】

通勤で外出しているとの回答が最も多く、主な移動手段は「鉄道」が最も多いことが分かりました。

問 23. 食料品・日用品の買い物のために外出をしていますか。

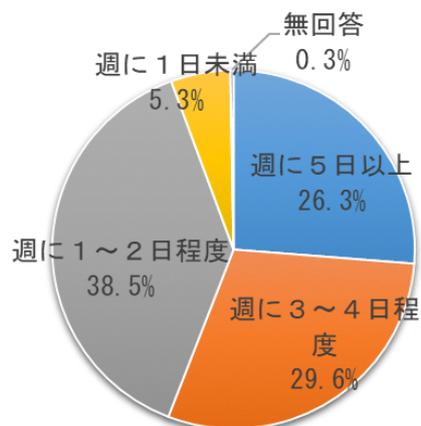
選択項目	回答数(人)	割合(%)
はい	358	95.0
いいえ	15	4.0
無回答	4	1.0
合計	377	



【問 23 で①と回答した方におたずねします。】

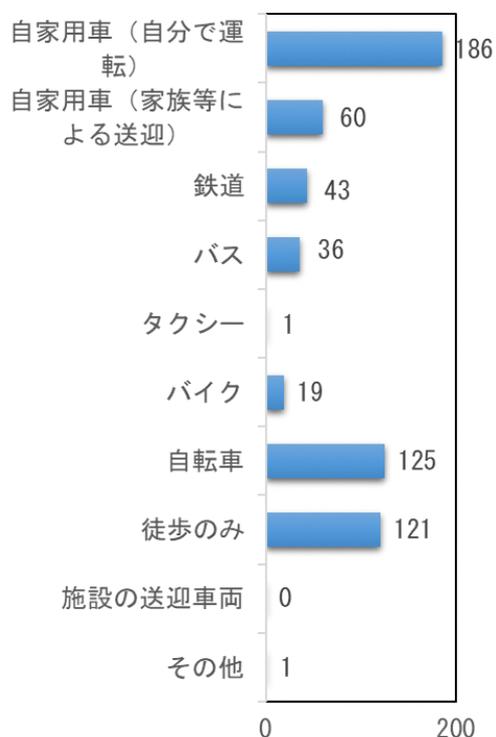
問24. 外出頻度

選択項目	回答数(人)	割合(%)
週に5日以上	94	26.3
週に3～4日程度	106	29.6
週に1～2日程度	138	38.5
週に1日未満	19	5.3
無回答	1	0.3
合計	358	



問25. 主な移動手段(複数選択可)

選択項目	回答数(人)
自家用車(自分で運転)	186
自家用車(家族等による送迎)	60
鉄道	43
バス	36
タクシー	1
バイク	19
自転車	125
徒歩のみ	121
施設の送迎車両	0
その他	1
合計	592

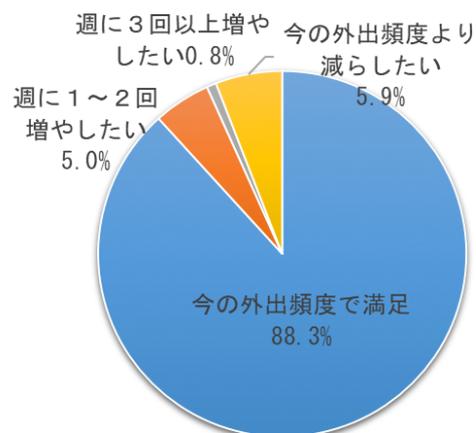


【考察】

「食料品・日用品の買い物」を目的とした外出頻度は分散しており、「週に5日以上」「週に3～4日程度」「週に1～2日程度」との回答がそれぞれ3～4割程度でした。主な移動手段は自家用車(「自分で運転」または「家族等による送迎」)を利用されている方が最も多いことが分かりました。

問26. 現在の外出頻度の意識を教えてください。

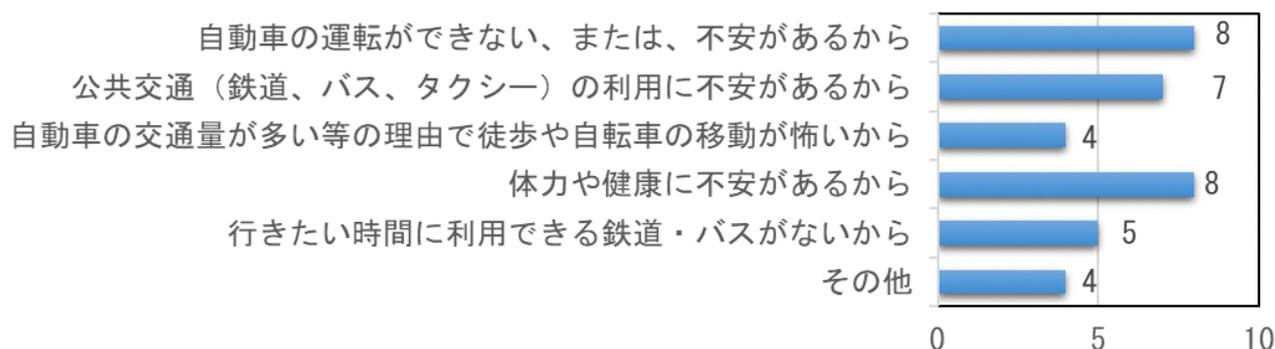
選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
今の外出頻度で満足	316	88.3
週に1～2回増やしたい	18	5.0
週に3回以上増やしたい	3	0.8
今の外出頻度より減らしたい	21	5.9
合計	358	



【問26で②、③と回答された方におたずねします。】

問27. 外出したいのにできていない理由を教えてください。(複数選択可)

選択項目	回答数 (件)
自動車の運転ができない、または、不安があるから	8
公共交通（鉄道、バス、タクシー）の利用に不安があるから	7
自動車の交通量が多い等の理由で徒歩や自転車の移動が怖いから	4
体力や健康に不安があるから	8
行きたい時間に利用できる鉄道・バスがないから	5
その他	4
合計	36

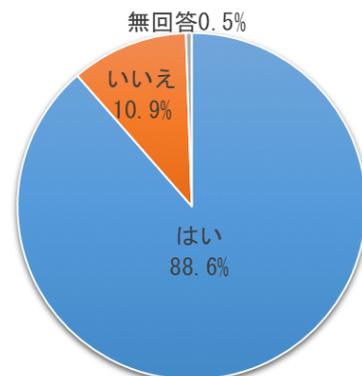


【考察】

「食料品・日用品の買い物」のための外出頻度は、今で満足されているという回答が9割近くありました。ただ、今の外出頻度よりも増やしたいという回答も6%程度あり、外出したいのにできない理由として、「公共交通（鉄道、バス、タクシー）の利用に不安があるから」等の回答であったため、今後はこれらを解決する取組の検討が必要と考えられます。

問28. 趣味、食事、娯楽（映画、レジャー等）、コミュニティ活動のために外出をしていますか。

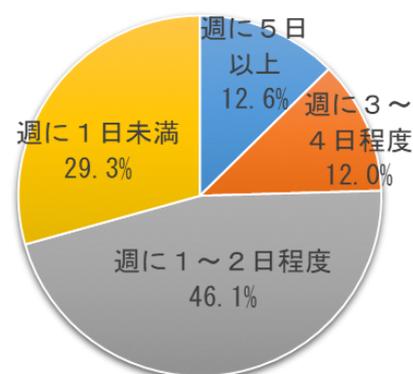
選択項目	回答数（人）	割合（%）
はい	334	88.6
いいえ	41	10.9
無回答	2	0.5
合計	377	



【問28で①と回答した方におたずねします。】

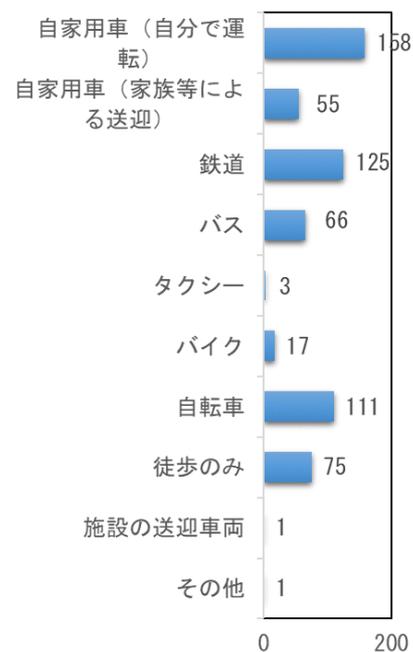
問29. 外出頻度

選択項目	回答数（人）	割合（%）
週に5日以上	42	12.6
週に3～4日程度	40	12.0
週に1～2日程度	154	46.1
週に1日未満	98	29.3
合計	334	



問30. 主な移動手段（複数選択可）

選択項目	回答数（人）
自家用車（自分で運転）	158
自家用車（家族等による送迎）	55
鉄道	125
バス	66
タクシー	3
バイク	17
自転車	111
徒歩のみ	75
施設の送迎車両	1
その他	1
合計	612

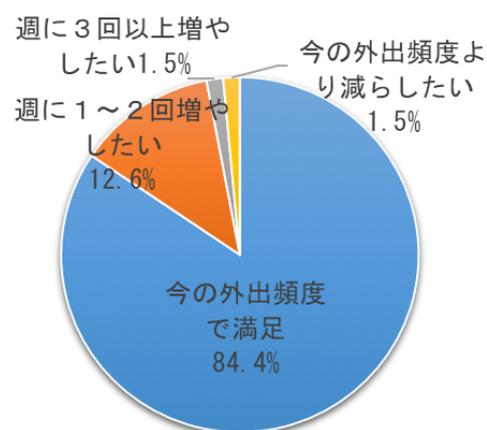


【考察】

趣味、食事、娯楽等の目的の外出頻度は、「週に1～2日程度」が最も多いことがわかりました。主な移動手段は自家用車が最も多く、次いで鉄道との回答が多いことがわかりました。

問31. 現在の外出頻度の意識を教えてください。

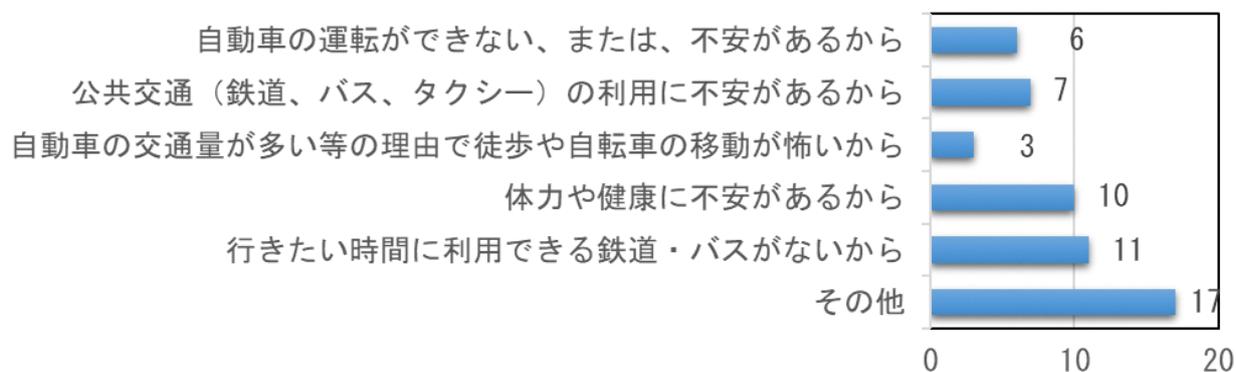
選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
今の外出頻度で満足	282	84.4
週に1～2回増やしたい	42	12.6
週に3回以上増やしたい	5	1.5
今の外出頻度より減らしたい	5	1.5
合計	334	



【問31で②、③と回答された方におたずねします。】

問32. 外出したいのにできていない理由を教えてください。(複数選択可)

選択項目	回答数(件)
自動車の運転ができない、または、不安があるから	6
公共交通（鉄道、バス、タクシー）の利用に不安があるから	7
自動車の交通量が多い等の理由で徒歩や自転車の移動が怖いから	3
体力や健康に不安があるから	10
行きたい時間に利用できる鉄道・バスがないから	11
その他	17
合計	54

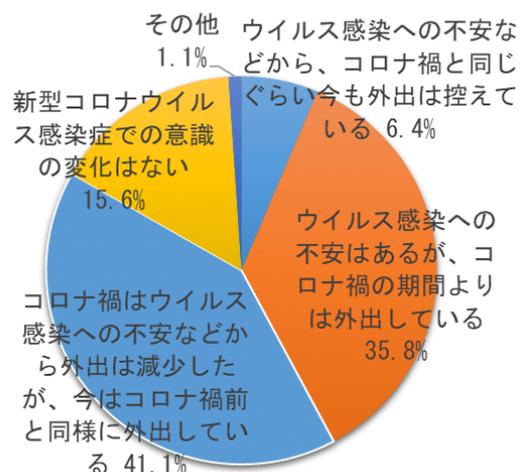


【考察】

今の外出頻度で満足されているとの回答は8割以上ありましたが、今の外出頻度よりも増やしたいとの回答も14%程度あり、外出したいのにできない理由として、「行きたい時間に利用できる鉄道・バスがないから」等の回答であったため、今後はこれらを解決する取組の検討が必要と考えられます。

問33. 新型コロナウイルス感染症の流行を経ておでかけへの意識はどう変化しましたか。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
ウイルス感染への不安などから、コロナ禍と同じぐらい今も外出は控えている	24	6.4
ウイルス感染への不安はあるが、コロナ禍の期間よりは外出している	135	35.8
コロナ禍はウイルス感染への不安などから外出は減少したが、今はコロナ禍前と同様に外出している	155	41.1
新型コロナウイルス感染症での意識の変化はない	59	15.6
その他	4	1.1
合計	377	



【考察】

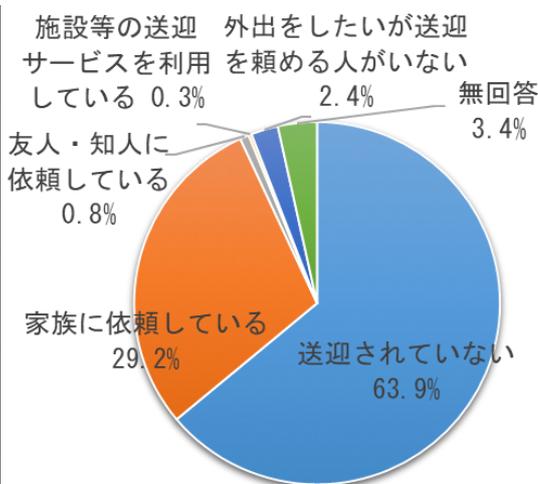
「コロナ禍と同じぐらい今も外出は控えている」との回答は 6.4%であり、90%以上がコロナ前と同様またはそれ以上に外出していると回答があり、外出頻度は戻りつつあることがわかりました。

送迎状況についておたずねします。

<自家用車による送迎の状況（送迎されている、あるいはしていない）について>

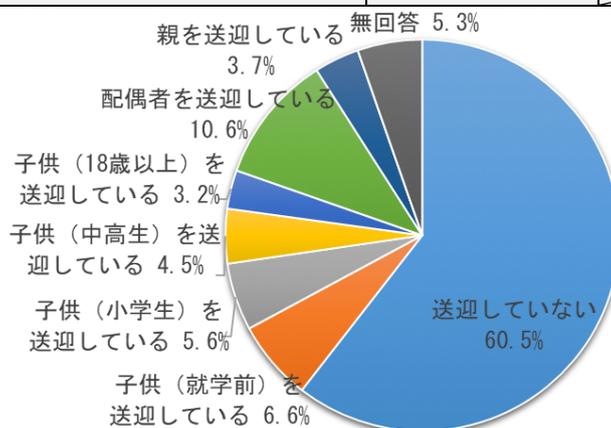
問34. 送迎されている側として（主な送迎を1つ選択）

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
送迎されていない	241	63.9
家族に依頼している	110	29.2
友人・知人に依頼している	3	0.8
施設等の送迎サービスを利用している	1	0.3
外出をしたいが送迎を頼める人がいない	9	2.4
無回答	13	3.4
合計	377	



問35. 送迎する側として（主な送迎を1つ選択）

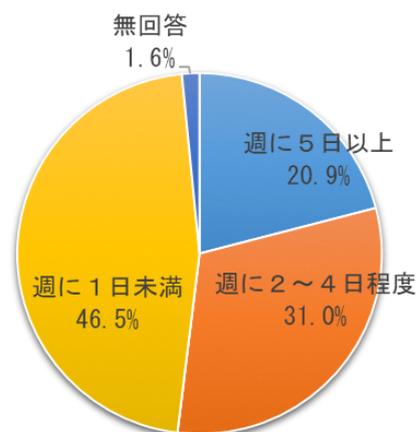
選択項目	回答数（人）	割合（%）
送迎していない	228	60.5
子供（就学前）を送迎している	25	6.6
子供（小学生）を送迎している	21	5.6
子供（中高生）を送迎している	17	4.5
子供（18歳以上）を送迎している	12	3.2
配偶者を送迎している	40	10.6
親を送迎している	14	3.7
友人・知人等を送迎している	0	0
無回答	20	5.3
合計	377	



【問35で②～⑧と回答された方におたずねします。】

問36. 送迎頻度

選択項目	回答数（人）	割合（%）
週に5日以上	27	20.9
週に2～4日程度	40	31.0
週に1日程度	0	0
週に1日未満	60	46.5
無回答	2	1.6
合計	129	



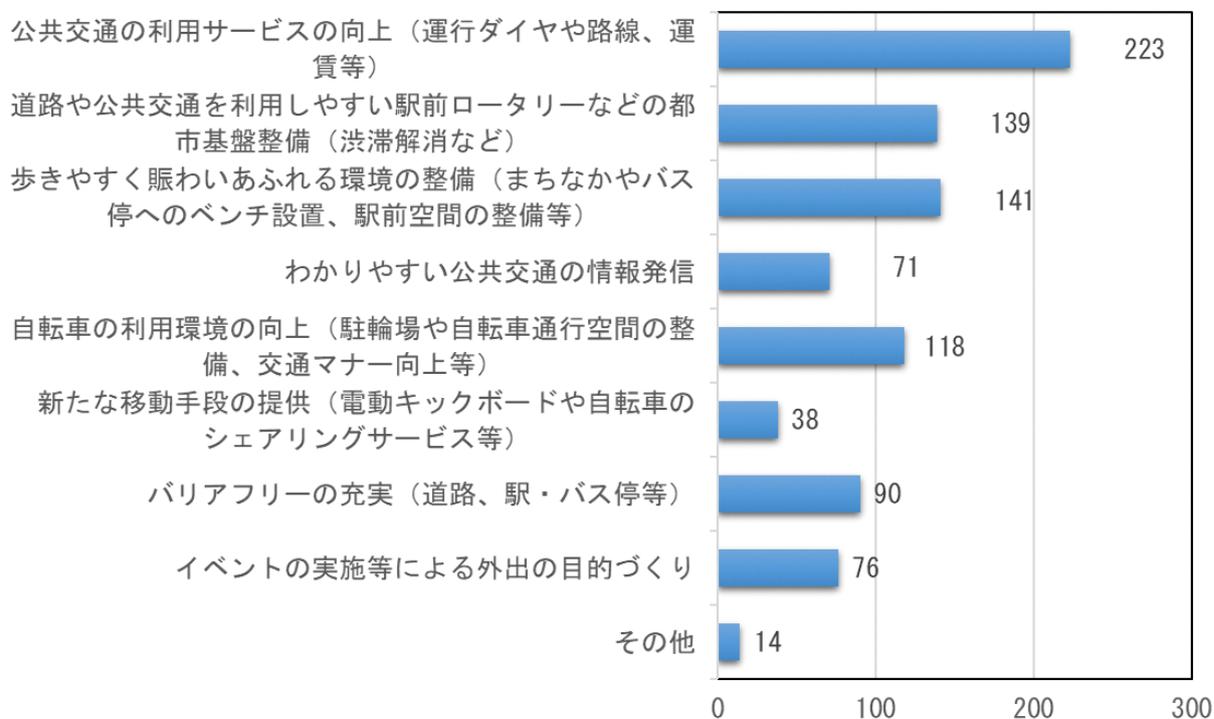
【考察】

「送迎をされている」との回答が4割程度あり、「送迎している」との回答も4割程度あることがわかりました。送迎される側は送迎依頼に遠慮や気兼ねがあり、自由に移動できないことや、送迎する側も送迎に時間がとられてしまうなどの問題があり、「自動車の送迎」から「公共交通の利用」に転換できれば送迎問題が解消されることが考えられます。

**交通とまちづくりについておたずねします。**

問37. 誰もが快適に過ごせる交通環境を実現するために、必要だと思う取り組みは何ですか。  
(3つまで選択)

選択項目	回答数 (人)
公共交通の利用サービスの向上 (運行ダイヤや路線、運賃等)	223
道路や公共交通を利用しやすい駅前ロータリーなどの都市基盤整備 (渋滞解消など)	139
歩きやすく賑わいあふれる環境の整備 (まちなかやバス停へのベンチ設置、駅前空間の整備等)	141
わかりやすい公共交通の情報発信	71
自転車の利用環境の向上 (駐輪場や自転車通行空間の整備、交通マナー向上等)	118
新たな移動手段の提供 (電動キックボードや自転車のシェアリングサービス等)	38
バリアフリーの充実 (道路、駅・バス停等)	90
イベントの実施等による外出の目的づくり	76
その他	14
合計	910



### 【考察】

誰もがおでかけしたくなる交通環境を実現するためには「公共交通の利用サービスの向上」、「歩きやすく賑わいあふれる環境の整備」、「道路や公共交通を利用しやすい駅前ロータリーなどの都市基盤整備」、「自転車の利用環境の向上」を望む声が多いことが分かりました。

問38. 日常の外出・移動に関して、あなたが普段感じていることがあれば教えてください。

<主なご意見>

(鉄道)

- ・ ベビーカーを利用することが多いが、駅などでエレベーターが遠く、不便だと感じることもある。
- ・ 京阪電車の本数が減って不便になった。バスと電車の乗り継ぎが悪いので、待ち時間が長い。

(バス)

- ・ 雨の日のバス待ちが嫌。枚方市駅方面行きの須山町バス停みたいに屋根があると嬉しい。ベンチがあると嬉しい。
- ・ 地域のバス廃止のニュースを見る度にこの地域では廃止にならない様にと願っています、バスがなくなればこの地域はどうなるだろうかと心配です。以前と比較しますと利用者はかなり減ですが私はこれからも有り難く利用させていただきます。
- ・ 今のところバスの本数は満足しているが減らさないで欲しい
- ・ 雨の日は、枚方市駅近くは朝と夕方渋滞している為、バスの時間がよく遅れている為不便です。

(タクシー)

- ・ 子どもの病気の時にタクシーを使いたい。近くの病院でも遠慮せずにのれるようになりたい。夜間のタクシーが少ない。雨の日のタクシーが少ない。お年寄り、身体の不自由な人のタクシー代の無料券配布。
- ・ 雨天時、タクシーは捕まらない。

(自動車、バイク)

- ・ 50cc バイクの駐輪場は駅前などに多くあるが、原付2種や大型バイクの駐輪場がなくて困っている。
- ・ 道が狭い、渋滞する
- ・ 車の迷惑駐車が多い。信号のない横断歩道でなかなか車が止まってくれない。

(自転車)

- ・ 自転車が猛スピードで走っているのをよく見かけるのでヒヤッとすることがある
- ・ 自転車が安心して走行できる専用道や区画の整備の推進
- ・ 自転車道を作って欲しい。駅までの道路は狭くいつも怖い思いをしながら運転している為。
- ・ 駅周辺に駐輪場が少ないこと

(歩行者)

- ・ 歩道がない場所がある為、車椅子や、バギーは、大変だと思います。
- ・ 歩道がボコボコしている。坂が多い。歩道が整備されていない道が多い。
- ・ マナーの悪さ。特に学生。横に並んで歩いたりしている。
- ・ ケータイを見ながら歩いている。

(その他)

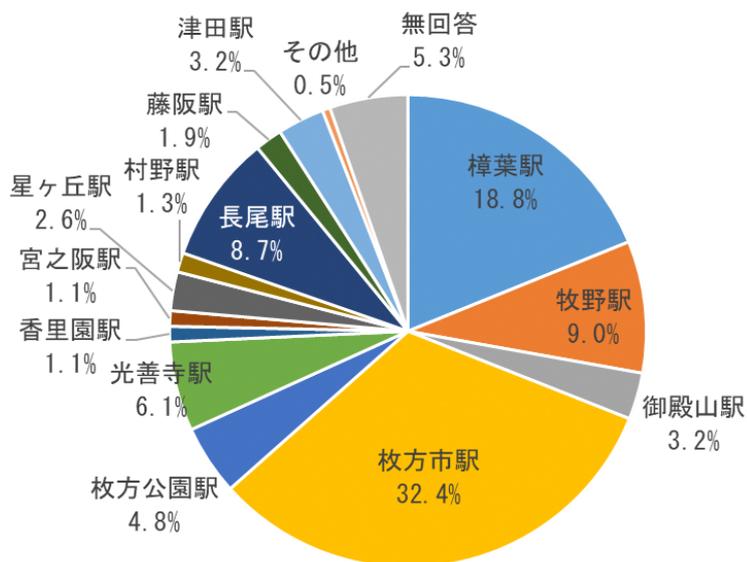
- ・ 自宅から枚方市駅まで歩いて 10 分程度なので、外出に不便は感じない。快適な交通環境だと思う。
- ・ 駅工事が多くて慣れた買い物拠点が複数なくなり、ちょっと不便です。
- ・ 住んでいるところは周辺に坂道が多く、駅も遠いため、意図せずとも健康づくりの環境が整っていると感じる。なるべく市民が健康であるためには、公共交通機関の利用だけでなく、徒歩を促すことも必要ではないか。

【考察】

公共交通の利用環境や、自転車・歩行者のマナー、道路環境など、幅広い意見があり、交通に関して高い意識が伺えました。

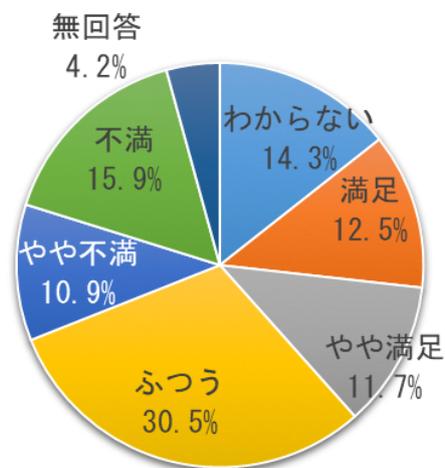
問39. 最も利用する枚方市内の駅を1つ教えてください。

選択項目	回答数 (件)	割合 (%)
樟葉駅	71	18.8
牧野駅	34	9.0
御殿山駅	12	3.2
枚方市駅	122	32.4
枚方公園駅	18	4.8
光善寺駅	23	6.1
香里園駅	4	1.1
宮之阪駅	4	1.1
星ヶ丘駅	10	2.6
村野駅	5	1.3
長尾駅	33	8.7
藤阪駅	7	1.9
津田駅	12	3.2
その他	2	0.5
無回答	20	5.3
合計	377	



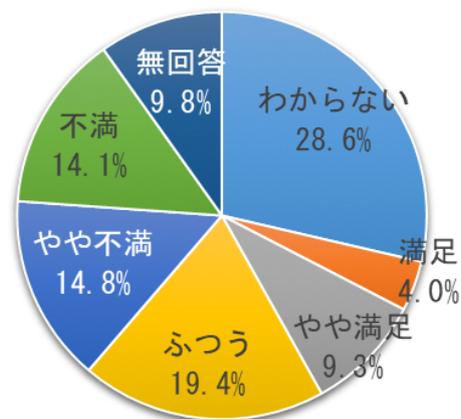
問40. その駅のイメージについて、あてはまるものを1つ選んでください。  
公共交通（バス、タクシー）との乗り継ぎのしやすさ

選択項目	回答数(人)	割合 (%)
わからない	54	14.3
満足	47	12.5
やや満足	44	11.7
ふつう	115	30.5
やや不満	41	10.9
不満	60	15.9
無回答	16	4.2
合計	377	



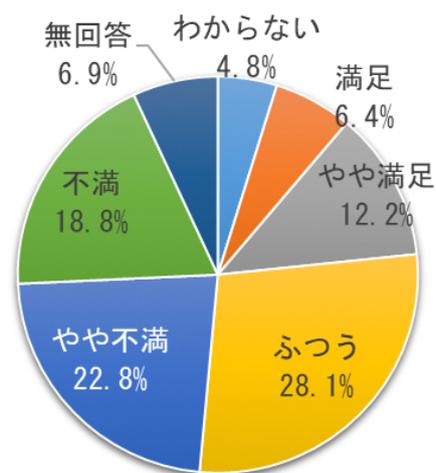
駐輪場の利用のしやすさ

選択項目	回答数(人)	割合 (%)
わからない	108	28.6
満足	15	4.0
やや満足	35	9.3
ふつう	73	19.4
やや不満	56	14.8
不満	53	14.1
無回答	37	9.8
合計	377	



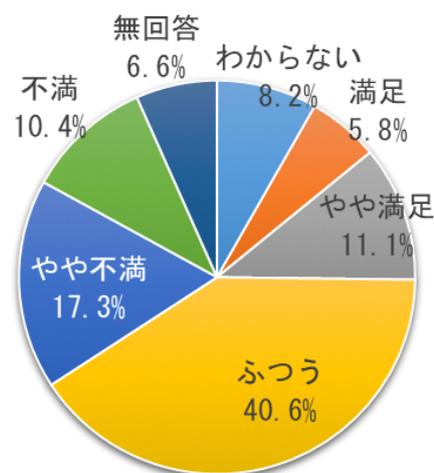
駅周辺の安全な歩行のしやすさ

選択項目	回答数(人)	割合 (%)
わからない	18	4.8
満足	24	6.4
やや満足	46	12.2
ふつう	106	28.1
やや不満	86	22.8
不満	71	18.8
無回答	26	6.9
合計	377	



駅利用者への情報提供、案内機能の見やすさ

選択項目	回答数(人)	割合 (%)
わからない	31	8.2
満足	22	5.8
やや満足	42	11.1
ふつう	153	40.6
やや不満	65	17.3
不満	39	10.4
無回答	25	6.6
合計	377	



【考察】

「公共交通（バス、タクシー）との乗り継ぎのしやすさ」は、「満足」＋「やや満足」と、「不満」＋「やや不満」を比較するとほぼ同数でしたが、ほかの項目については「不満」＋「やや不満」の方が上回る結果となりました。特に、「駅周辺の安全な歩行のしやすさ」については、「満足」＋「やや満足」が18.6%に対し、「不満」＋「やや不満」は41.6%であり、道路環境の改善を求められている声が多いことがわかりました。

【まとめ】

本結果については、学識経験者、行政、交通事業者、道路管理者、市民等で構成する本市の枚方市総合交通計画推進協議会で協議を行ったうえ、現在取り組んでいる総合交通計画の改定に役立てさせていただきます。